



在田地区まちづくり計画

子どもたちの元気な声が聞こえ 笑顔でふれあえる 魅力的なまち

自然が豊かで活気があり、世代や人、思いや経済が巡る、暮らし続けられるまち



目次

第 1 章	はじめに	1
第 2 章	在田地区の現況と課題	2
(1)	在田地区の現況	2
i.	位置	2
ii.	地勢	3
iii.	人口・世帯	4
iv.	交通	5
v.	地域資源	6
(2)	地区住民のまちづくりに対する意向	8
i.	アンケート調査結果	15
ii.	ワークショップの実施	34
(3)	まちづくりへ向けた魅力と課題の整理	48
第 3 章	在田地区が目指す将来像	50
(1)	まちづくりの将来像	50
(2)	まちづくりの基本方針	50
i.	歴史・文化財	50
ii.	自然	50
iii.	農業	50
iv.	産業	51
v.	子ども・若者	51
vi.	シニア	51
vii.	公共交通・道路	51
viii.	買い物・店舗	51
ix.	住まい・空き家	52
x.	地域のまとめ	52
第 4 章	まちづくりの推進に向けて	53
(1)	活動組織の体制	53
(2)	今後の活動計画	54
i.	歴史・文化財	54
ii.	自然	55
iii.	農業	56
iv.	産業	57
v.	子ども・若者	58
vi.	シニア	69
vii.	公共交通・道路	60
viii.	買い物・店舗	61
ix.	住まい・空き家	62
x.	地域のまとめ	63
資料編	在田地区まちづくり計画（ダイジェスト版）	64

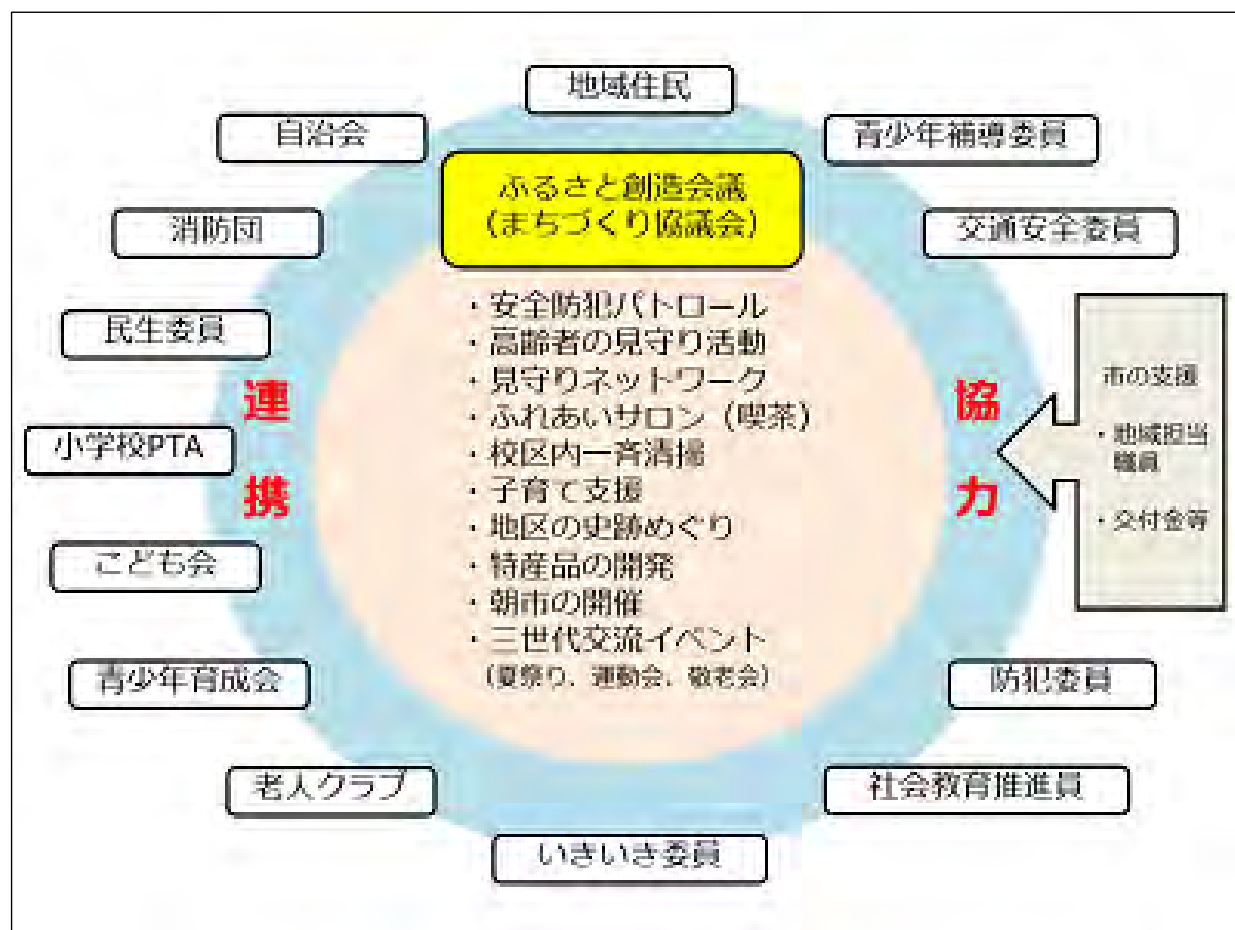
第1章 はじめに

ふるさと創造計画（まちづくり計画）の位置付け

在田地区では少子高齢化や人口減少、ライフスタイルの多様化により、地域の状況が大きく変化してきています。また、地域活動の担い手不足や高齢化などが進んでおり、今後、地域の課題は多様化・複雑化し、対応が難しくなると考えられます。

こうした中で、在田地区を元気で魅力あふれる持続可能なまちにしていけるためには、地域で活動している団体や住民が意見を出し合い、協働・連携して活動する必要があります。

在田あいあいまちづくり協議会では、在田地区内の住民が主体となって地域課題の解決に向けて行動し、個性豊かで活力にあふれる地域をつくり、地域住民の増加へとつながる、将来にわたって持続可能なまちづくりを推進することを目的としており、その実現に向けた計画を、ここにまとめました。



▲ ふるさと創造会議（まちづくり協議会）のイメージ

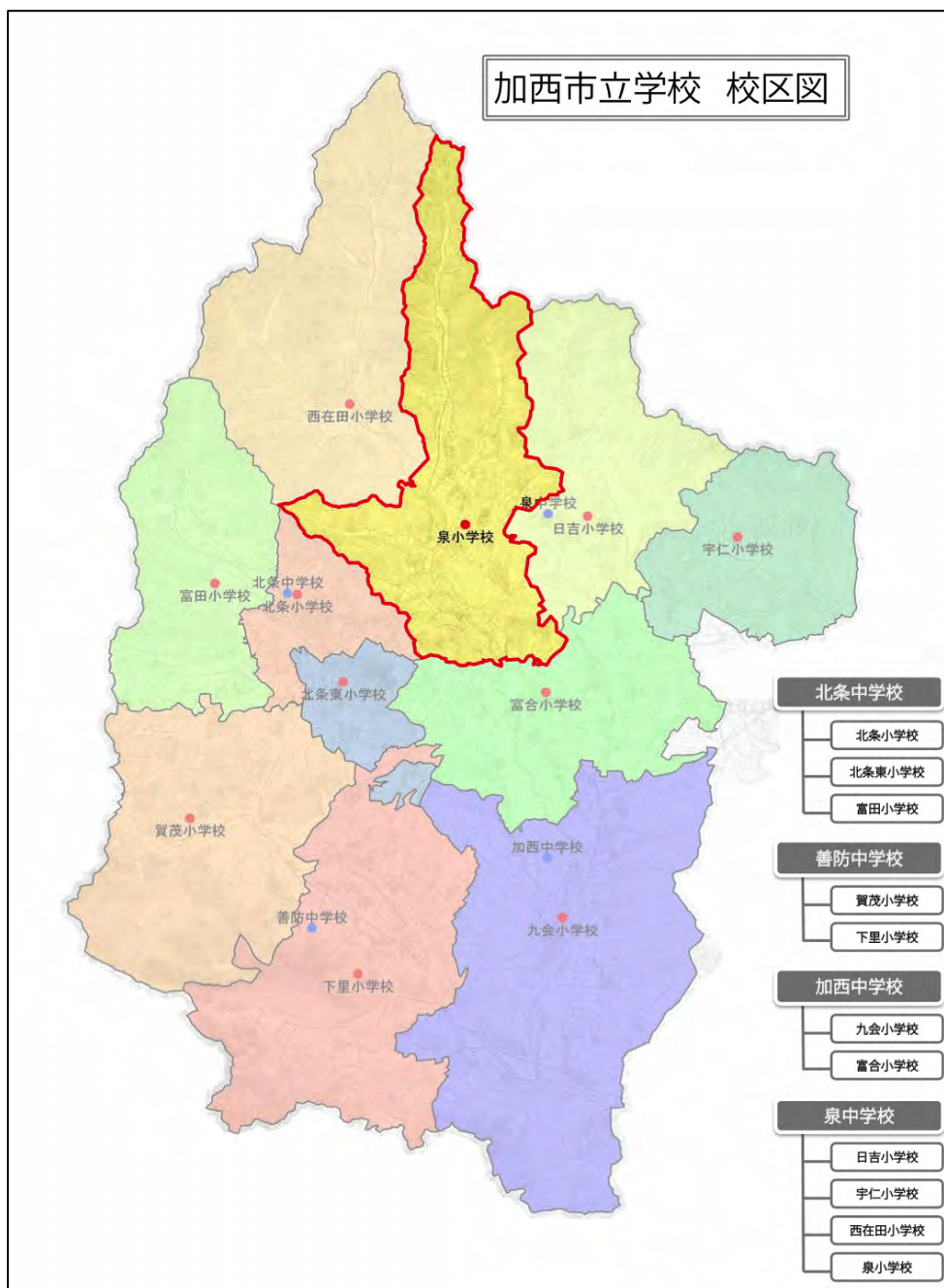
出典：加西市 市政 ふるさと創造会議

第2章 在田地区の現況と課題

(1) 在田地区の現況

i. 位置

在田地区は加西市の北部に位置しており、殿原町、鴨谷町、笹倉町、中富町、越水町、北町、別所町、佐谷町、上野町、広原町、下芥田町、上芥田町の12町で構成される地区です。加西市ではふるさと創造会議を、概ね小学校区を基本として構成しています。これは、お互いに顔がわかり、共通の話題を持てることができ、関係づくりが容易であること、地域活動の単位として歴史があり、地域住民に馴染みのある単位であるためです。在田地区は泉小学校校区に当たり、地区面積は約17.73平方キロメートルです。



▲ 加西市立学校 校区図

出典：加西市教育委員会 小学校・中学校の校区

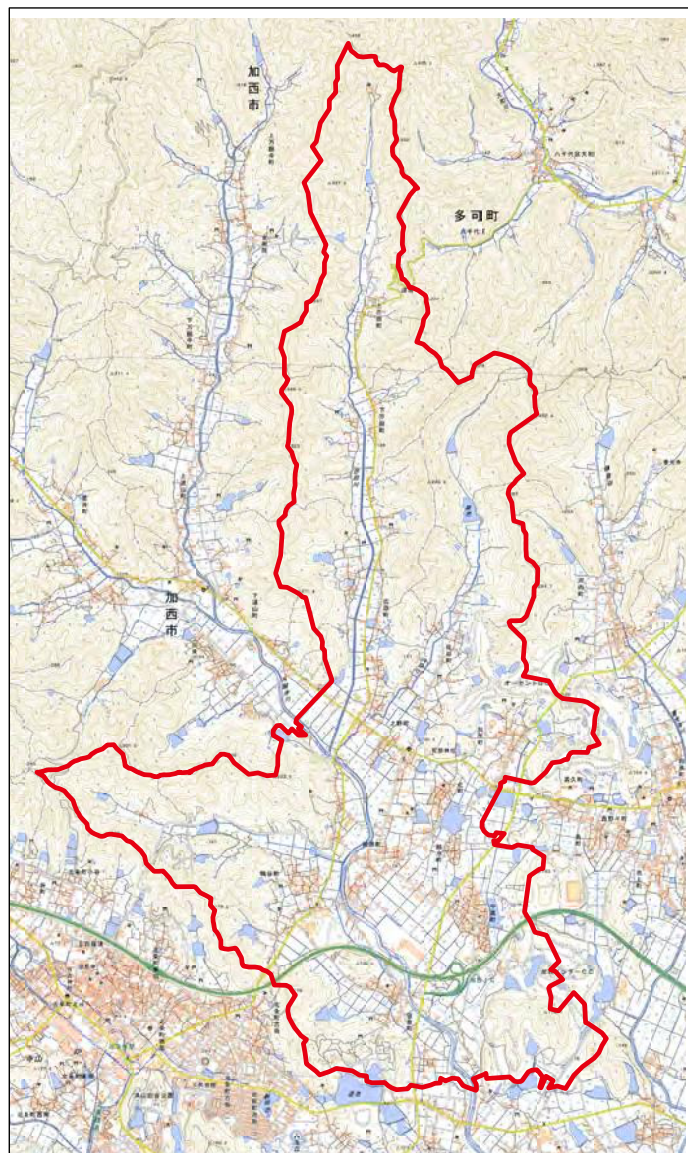
ii. 地勢

在田地区は、中国山地東端南裾に位置し、南東に流れる万願寺川と芥田川等の支流が構成する段丘に立地します。万願寺川左岸の段丘面は、上流域では最も開けた場所になっています。

こうした地形的な特徴から、古代から人々が集まり住まう地となり、武具や鉄製品が埋納された亀山古墳（笹倉町）、郷社となった皇塚古墳（上野町）、長持形石棺が納められた経塚古墳（中富町）、北播磨最大級の石室をもつ鴨谷大塚古墳（鴨谷町）が築かれるなど、古代から有力者が出現しています。白鳳時代には古代寺院の殿原廃寺（殿原町）が建立され文化的にも先進地域となります。奈良時代には『播磨国風土記』でも地名（鴨坂・鴨谷）が記載されています。

平家政権下では、「在田」の地名由来となる在田荘が、平清盛の片腕として活躍する弟頼盛にあてがわれています。室町時代には赤松氏の一門が東播磨支配のため赴任し「在田氏」を名乗っています。赤穂藩領期には久学寺が浅野家菩提寺の一つとなり、地域に赤穂に関する様々な事物が残るなど、日本の中世・近世史と深く関わってきます。

また、近代加西の農業発展にも大きく寄与し、殿原町に取水口を設けた飯盛野疎水は、現在は糍屋ダム水利と接続し、今なお加西の農地を潤しています。

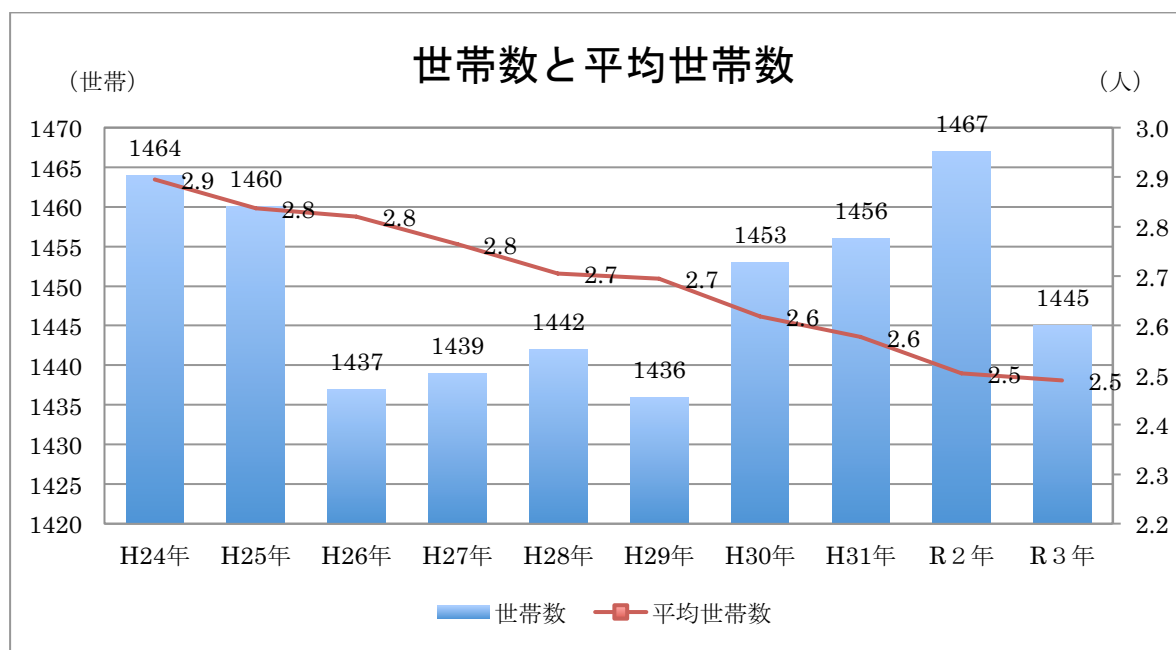
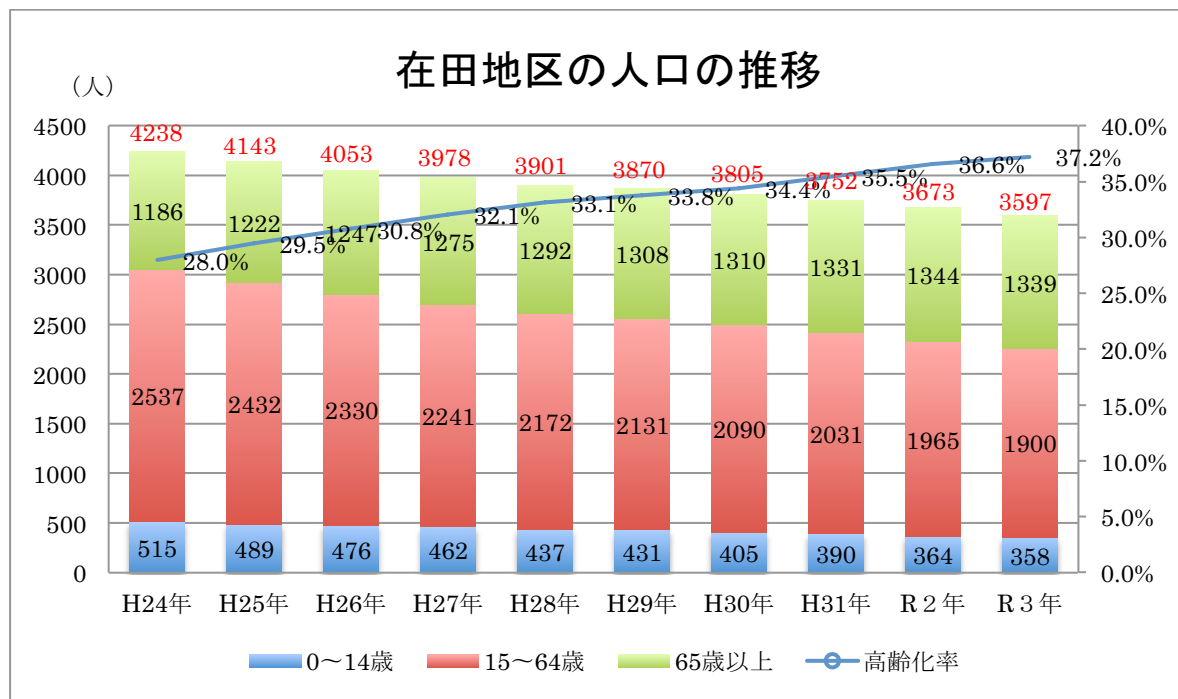


▲日吉地区 地形図

iii. 人口・世帯

令和3年3月31日時点における在田地区内の総人口は、3,597人（男：1,763人、女：1,834人）です。また、0～14歳の年少人口は358人、15～64歳の生産年齢人口は1,900人、65歳以上の老年人口は1,339人となっています。平成24年の総人口は、4,200人以上でしたが、年々減少傾向傾向にあります。そして、年少人口、生産年齢人口共に減少しているのに対し、老年人口は年々増加しており、令和3年時点の高齢化率は、35.6%で、高齢化が進行しています。

在田地区の世帯数は、現在1,445世帯です。平成24年の平均世帯人数は、約2.9人であったのに対し、令和3年には約2.5人まで減少しており、1人暮らし世帯が増加している事が推察されます。



出典：加西市統計情報 町別毎月人口

iv. 交通

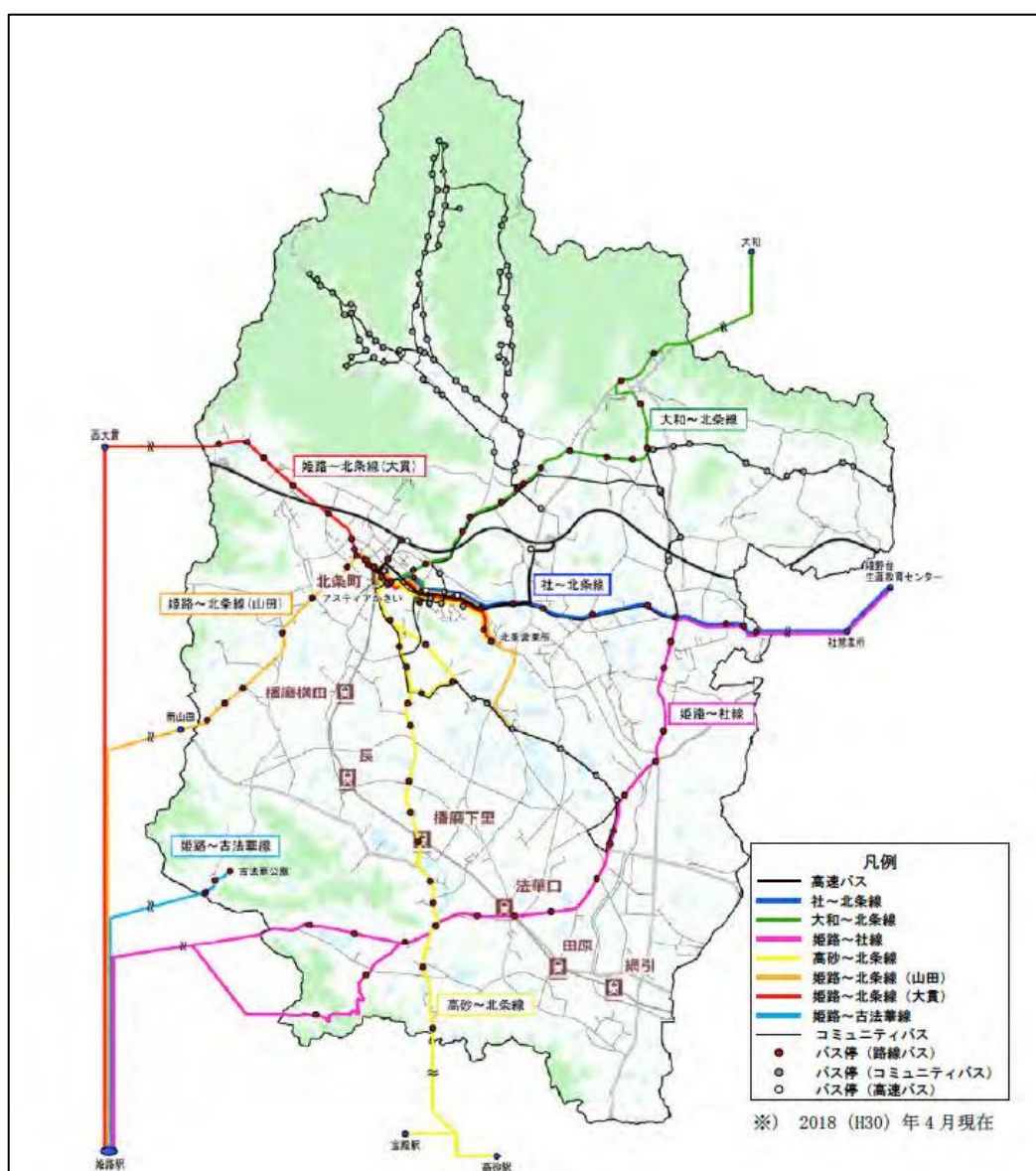
加西市には、鉄道、高速バス、路線バス、タクシー、コミュニティバス等の公共交通が運行しています。

鉄道は、北条地区から南東に北条鉄道が走っており、JR 加古川線と神戸電鉄粟生線に接続しています。所要時間は、神戸まで約 1 時間、大阪まで約 1 時間半です。在田地区からは、北条鉄道北条町駅が最寄り駅です。

高速道路については、加西市の中央を横断する形で中国自動車道が走っており、加西インターチェンジが在田地区内に位置しています。

また、中国自動車道等を運行する大阪・神戸・京都方面への高速バスがあり、加西市と隣接市町を結ぶ路線バス、北条町駅を中心に市内を運行するコミュニティバス「ねっぴ〜号」と市北西部を運航する「ハッピーバス」が走っています。

鉄道・バスが運行されていないエリアや時間帯など、鉄道・バスではカバーできない需要に対しては、タクシーが市民の移動手段としての役割を担っています。



▲ 加西市交通路線図

出典：平成 30 年 3 月 加西市地域公共交通形成計画

v. 地域資源

在田地区には多様な地域資源があり、住民の視点から示されたものを p. 48 にまとめています。ここでは、在田地区を代表する主な資源を示します。

石部神社（上野町）

養老3年（719）の創建伝承をもち、平安時代にまとめられた『延喜式』に記載のある式内社の一つとされています。神社の信仰の原型はさらにさかのぼり、三津山の頂に築かれた皇塚古墳（6世紀／市史跡）にあったと考えられます。祭神は平家の信仰を集めた広島県の厳島神社と同じ（海の）三女神なので、石部神社の発展過程で平頼盛の一族が関わった可能性があります。境内には「千年杉」と称される、市天然記念物の門杉があります。現在の本殿は、享保14年（1729）に建てられており、秋には氏子が集まる例大祭が実施されます。



▲ 石部神社

久学寺（芥田町）

文安3年（1446）開基とされる古刹で、東京の泉岳寺、赤穂の花岳寺とともに赤穂義士ゆかりの三がく寺の1つです。大石内蔵助がたびたび滞在したといわれ、江戸城で刃傷事件が起こった際も、大石内蔵助は久学寺で碁を打っており、連絡を受け、慌てて赤穂に帰ったとの言い伝えが残っています。

また、討ち入り後には、9世住職 海音和尚が浅野内匠頭長矩公と四十六士の戒名を贈ったとされ、現在でも毎年12月14日に義士祭が開催されています。



▲ 久学寺

亀山古墳（笹倉町）

在田地区や富合地区を見下ろす山頂に築かれた、長径48m、短径44mのやや楕円の円墳で、5世紀末期に造られています。この山は岩肌が露出するような山のため、古墳も岩盤を削って墳丘が整形されています。

昭和12年（1937）に地元有志による発掘調査が行われ、短甲・冑・剣・鉾など鉄製武具を中心とした多量の副葬品が出土しています。

現在、古墳は市史跡、出土品は市文化財に指定されています。

また、古墳からランドマークタワーへ続く尾根筋が整備され、ハイキングコースに設定されています。



▲ 亀山古墳

御葉着イチョウ（殿原町）

殿原町の庚申堂（清水寺）境内に生える、樹高 33m、根回り 5.9m、推定樹齢 300 年の大イチョウです。葉のふちに銀杏をつける、国内でも数十本しか確認されていない珍しい変異種で、県天然記念物に指定されています。市内では 3 本が確認されていて、うち 1 本が同じ在田地区の中富町観音堂（延寿寺）境内にあります。

庚申堂では、毎年 3 月に修験者による護摩供養が行われ、地区の人々の安泰と繁栄が祈願されます。



▲ 御葉着イチョウ



▲ 庚申堂

(2) 地区住民のまちづくりに対する意向

i. アンケート調査結果

在田あいあいまちづくり協議会では、まちづくり計画の策定に向けて、地域住民の意見を確認することを目的とした、全戸配布のまちづくりアンケートを実施いたしました。そして、まちの将来を担う小中高生を対象とした、小中高生向けアンケートも合わせて実施いたしました。次頁に、実施したアンケートの内容と、その集計結果を示します。

実施期間：令和3年5月～6月

配布・回収方法：各町の役員が配布・回収

〈一般向けアンケート〉

配布戸数：1,190（各世帯に2部ずつ配布）

回収数：1,289

〈小中高生向けアンケート〉

配布戸数：高校生以下の子どもの居る世帯に2部ずつ配布

回収数：195

在田地区全世帯アンケートの ご協力をお願いいたします。

在田あいあいまちづくり協議会では、多様な地域住民の参画のもと、安心安全で魅力ある地域づくりに取り組んでいます。

今回、地域で暮らす皆さんが日頃思っていることやご意見をお聞きし、地域の将来に向けた取組みを検討していくため、在田地区の全世帯を対象としたアンケートを実施いたします。みなさまのご協力をお願いいたします。

ご回答は「アンケート回答用紙」(別紙)にお願いします。各町の隣保の代表が回収に参りますので、**アンケート回答用紙のみ**を回収用封筒に入れてお渡し下さい。

☆回収方法：各町の隣保代表が回収します。

☆ご記入いただく方：①一般向け⇒各ご家族の若い世代の方1～2名

※若い世代がおられない場合は、どなたか1～2名がご記入ください。

②小中高生向け⇒小中高生の内1～2名

※ご家庭に小中高生がおられない場合は、②の回答は必要ありません。

◆◆◆ 令和3年 在田地区一般向けアンケート ◆◆◆

特に指定のない場合、回答用紙の各項目についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

ご自身について

問1 あなたの現在のお仕事を教えてください。

- | | | |
|------------|-------|----------------|
| 1. 専業主婦・主夫 | 2. 農業 | 3. 勤め人(パートを含む) |
| 4. 自営業 | 5. 無職 | 6. 無回答 |

問2 あなたの年齢は何歳ですか。

- | | | | | |
|----------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 20代 | 2. 30代 | 3. 40代 | 4. 50代 | 5. 60代 |
| 6. 70代以上 | | | | |

問3 あなたの性別を教えてください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. どちらでもない |
|-------|-------|------------|

在田あいあいまちづくり協議会について

問4 在田あいあいまちづくり協議会の名前や活動していることをご存じですか。

1. はい 2. いいえ

問5 在田あいあいまちづくり協議会が実施した活動で、今までに参加された活動はありますか？（複数回答可）

1. 農産物研修会 2. 在田ふれあいフェスティバル 3. 在田ふれあいウォーク

問6 在田あいあいまちづくり協議会の広報誌「あいあい便り」を見たことはありますか？

1. 読んだことがある 2. 広報誌は知っているが読んだことはない
3. 広報誌の存在自体、知らない

在田地区全体について

問7 在田地区は全体的に住みやすい地域と思いますか。

1. 住みやすい 2. 住みにくい

問8 これからも在田地区に住み続けたいと思いますか。

1. ずっと住んでいたい 2. 当面は住みたい
3. 将来の状況により転居も考える 4. いずれは他へ転居したい

問9 在田地区の“魅力”とは何だとお考えですか。（複数回答可）

1. 自然が豊かである 2. のんびりとした雰囲気がある
3. 歴史があり、文化財が多い 4. 地域のまとまり（つながり）がある
5. 災害が少なく、気候がおだやか 6. 車による交通の便が良い（通勤・買い物）
7. その他（※回答用紙に記入）

問10 在田地区の“課題”とは何だとお考えですか。（複数回答可）

1. 少子化・高齢化 2. 後継者の不足
3. 空き家・空き地（耕作放棄地）が多い 4. 災害への対策
5. 公共交通機関の不足 6. 鳥獣被害が多い
7. 地域に活気がない 8. 地域行事や近所付き合いが大変
9. その他（※回答用紙に記入）

在田地区の地域づくりについて

問 11 現在、在田地区内の各自治会や団体などで行われている各種イベントや行事について、
どう思われますか。(複数回答可)

1. 団体などの行事を同じ日に統合して行²うべきである
2. 自治会などの行事（夏祭り）を地域内で統合するなど、整理する必要がある
3. 今までどおりのスケジュールですべきである
4. その他（※回答用紙に記入）

問 12 今後、在田地区で都市農村交流、地域間交流、世代間交流などのイベントを開催する場
合、これらに参加するとすれば、どんなイベントなら参加したいと思いますか。

1. 都会の方と農業体験などを通じた交流活動
2. 地区運動会のような自治会をこえた在田地区全体としての交流活動
3. 在田地区と同じような市外の地域との交流活動
4. その他（※回答用紙に記入）

問 13 在田地区において、これから重要だと思う取り組むべき活動は何だと考えますか。
(複数回答可)

1. 観光・産業振興
2. 地域福祉の充実
3. 伝統・文化の継承、振興
4. 農業の振興
5. 生活基盤（道路・公園など）
6. 防災対策の充実
7. 地域住民の交流（夏祭りやウォーキング等の交流イベントの充実）
8. 子育て支援・教育支援ボランティア
9. 地域の美化活動
10. あて職等ではなく、異なる年代や女性が参画できる体制づくり
11. 在田地区から離れて暮らしている人が意見・参加できる仕組みづくり
12. その他（※回答用紙に記入）

問 14 在田地区では、これから取り組むべき活動の検討を進めています。以下の案のそれぞれについてどのようにお感じか、教えてください。

- ① 地域オンデマンドハイヤー※の実施検討
- ② 地区の案内・名所看板の制作・設置
- ③ 地区としての災害時の備蓄用品の確保（備蓄倉庫の設置）
- ④ 地域広報の充実

①～④のそれぞれについて、

- 1. すぐにも取り組むべき
- 2. 検討の上、必要があれば取り組むべき
- 3. 取り組む必要はない

※ 地域オンデマンドハイヤーとは・・・交通手段に不便を来している方を、自宅や指定場所から目的地まで、途中乗り合う人を乗せながらそれぞれの行き先に車等により送迎する、地域主体で実施するサービスです。

問 15 在田地区の地域づくりへの関心はございますか。

- 1. とても関心がある
- 2. 少し関心がある
- 3. あまり関心がない
- 4. 全く関心がない

問 16 在田地区の地域づくりについて、参加したいと思いますか。

- 1. 積極的に参加したい
- 2. 機会があれば参加したい
- 3. あまり参加したくない
- 4. 参加したくない

問 17 在田地区において、どんな地域づくり活動があれば参加してみたいですか。（自由記述）

問 18 在田地区が将来、どのようなまちになれば良いとお考えですか。（自由記述）

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

令和3年 在田地区小中高生向けアンケート

問1 あなたは在田地区が好きですか？

1. とても好き 2. 好き 3. あまり好きではない 4. 好きではない

問2 在田の魅力（よいところ）は何ですか？理由もあればおしえてください。

問3 在田の課題（わるいところ）は何ですか？理由もあればおしえてください。

問4 在田で行われる催し（イベント）などには参加していますか？

1. ほとんど参加する 2. たまに参加する
3. あまり参加しない 4. 全く参加しない

問5 あなたが大人になったとき、在田がどんなまちになっていけばいいと思いますか？

問6 あなたが在田のためにできること（できそうなこと）はどんなことがありますか？

今からであっても何年か先であってもかまいません。

問7 あなたは将来、在田で働きたいと思いますか？

1. 絶対に働きたい 2. できれば働きたい
3. あまり働きたくない 4. 働きたくない（別の場所で働きたい）

問8 あなたは将来、在田で暮らしたいと思いますか？

1. 絶対に暮らしたい 2. できれば暮らしたい
3. あまり暮らしたくない 4. 暮らしたくない（別の場所で暮らしたい）

～ 高校生の方は、裏面もお答えください。～

～ 以下 高校生の方はお答え下さい。～

問9 問 8の質問についてそれぞれの回答に対してお答え下さい。(複数回答可)

①【絶対に暮らしたい】と答えた人

- ア. 自分でもそう思うから(仕事も地元でやりたいから)
- イ. 両親がすすめるから(家を継がなくてはいけないから)
- ウ. 家の事業を継がなくてはいけないから
- エ. 在田が好きだから
- オ. その他()

②【できれば暮らしたい】と答えた人

- ア. 自分に合った仕事があれば帰ってきてもいい
- イ. 両親が「なるべく帰ってきて欲しい」と言うから
- ウ. 親戚や友人が多く住んでいるから
- エ. まだ決められないがなるべく在田に帰ってきたい
- オ. その他()

③【あまり暮らしたくない】と答えた人

- ア. とりあえず都会で就職し、退職した後に考える
- イ. 両親が「どちらでもいいよ」と言っているから
- ウ. できれば両親と離れて暮らしたいから
- エ. 在田にはあまり住みたいと思わないから
- オ. その他()

④【暮らしたくない】と答えた人

- ア. 生涯都会で生活したい
- イ. いい仕事があれば、在田以外のどこでも生活したい
- ウ. 両親が「帰ってこなくてもいいよ」と言っているから
- エ. 在田で働きたくない・住みたくないから
- オ. その他()

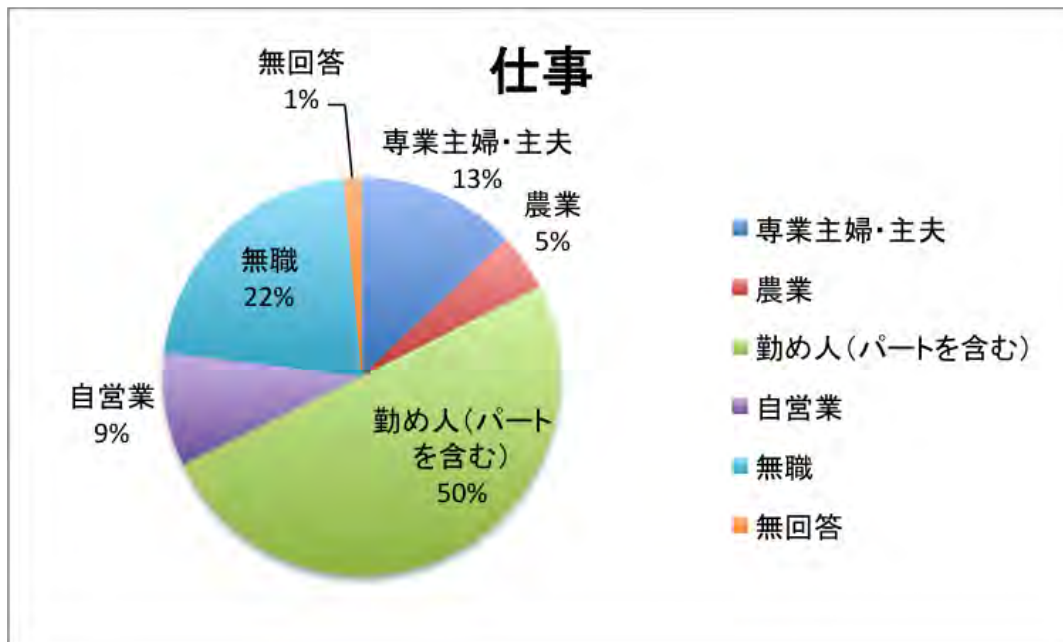
在田地区一般向けアンケート 集計結果

配布世帯数：1190（各世帯に2部ずつ配布）

回収数：1289

ご自身について

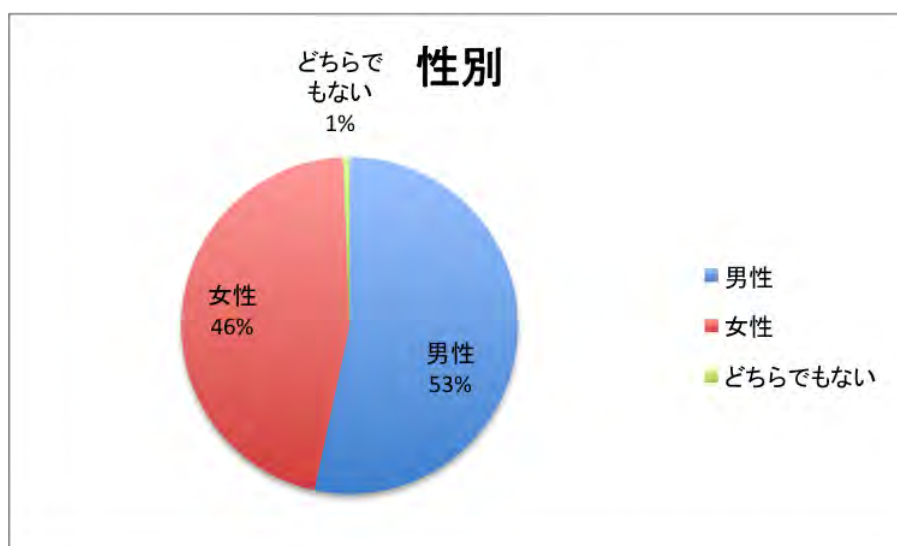
問1 あなたの現在のお仕事を教えてください。



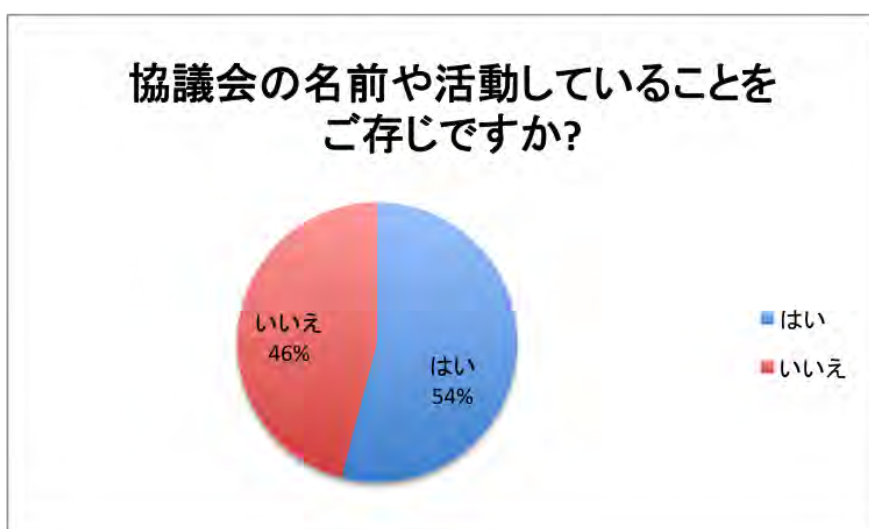
問2 あなたの年齢は何歳ですか。



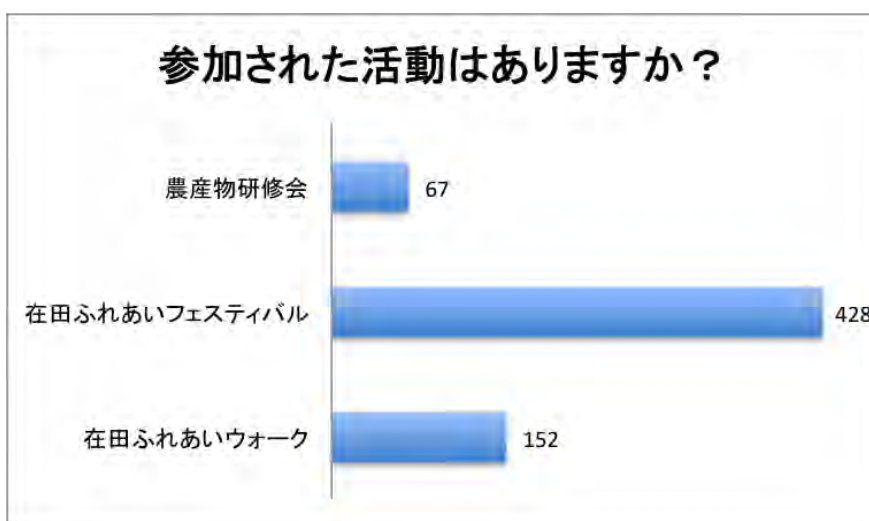
問3 あなたの性別を教えてください。



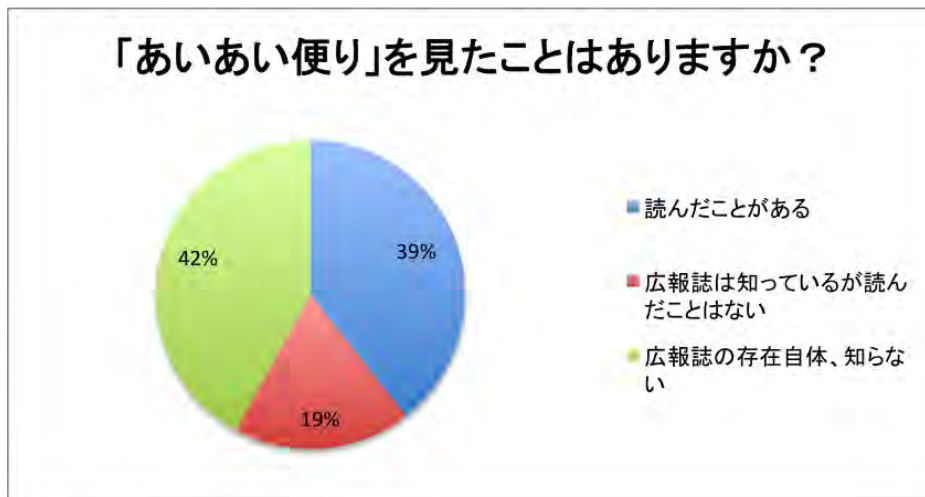
問4 在田あいあいまちづくり協議会の名前や活動していることをご存じですか。



問5 在田あいあいまちづくり協議会が実施した活動で、今までに参加された活動はありますか？（複数回答可）

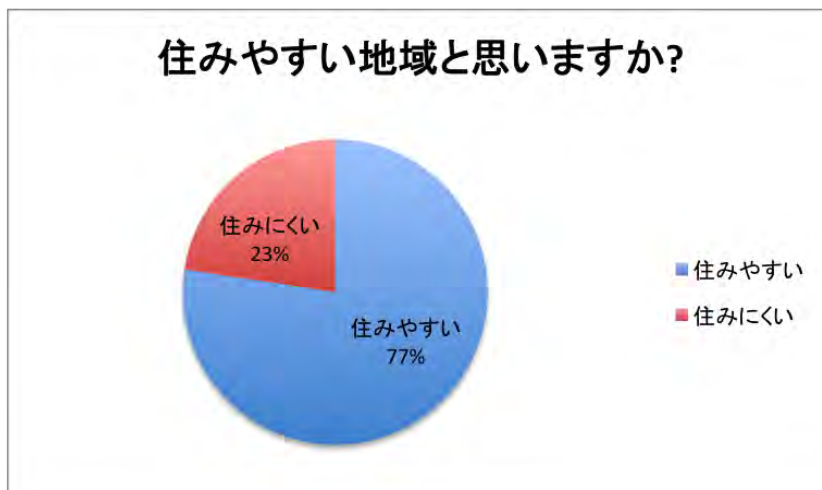


問 6 在田あいあいまちづくり協議会の広報誌「あいあい便り」を見たことはありますか？

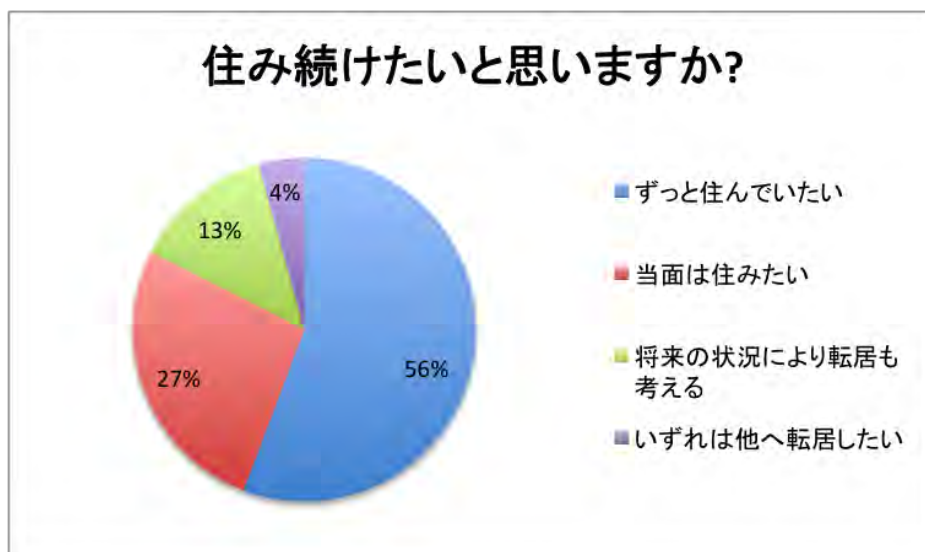


在田地区全体について

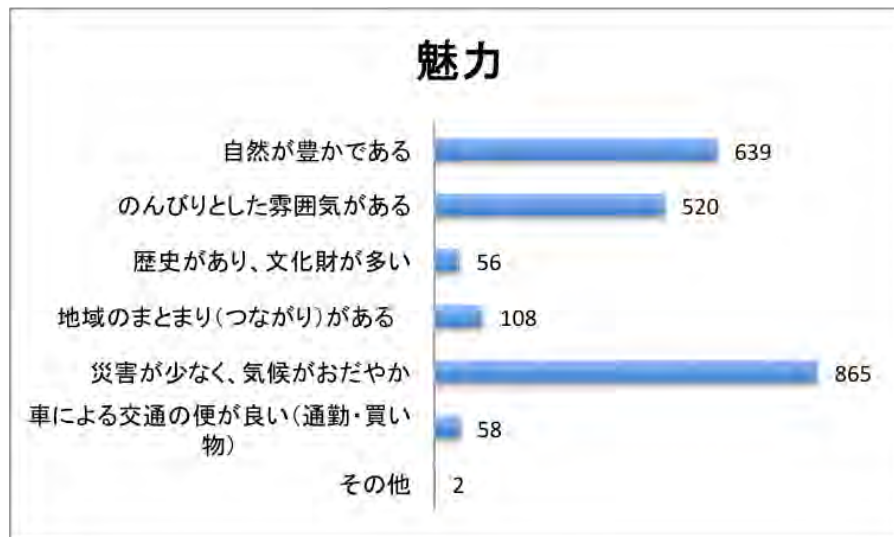
問 7 在田地区は全体的に住みやすい地域と思いますか。



問 8 これからも在田地区に住み続けたいと思いますか。



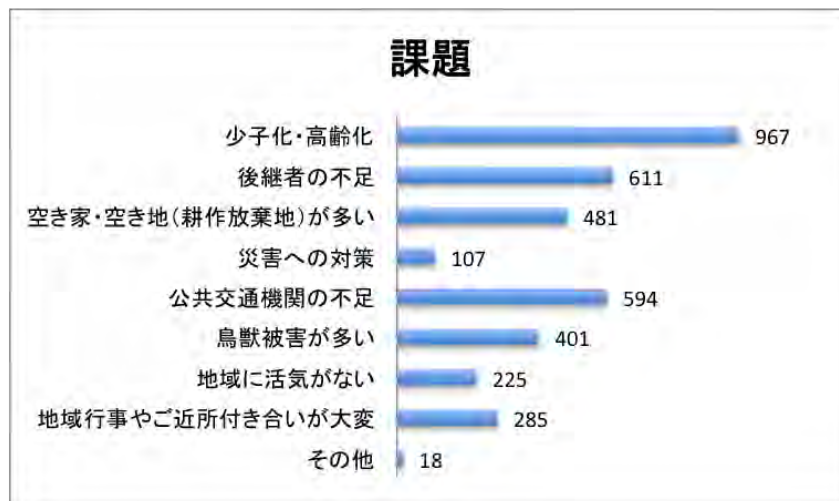
問 9 在田地区の”魅力”とは何だとお考えですか。(複数回答可)



[その他]

- ・ 血縁者がいるから

問 10 在田地区の”課題”とは何だとお考えですか。(複数回答可)

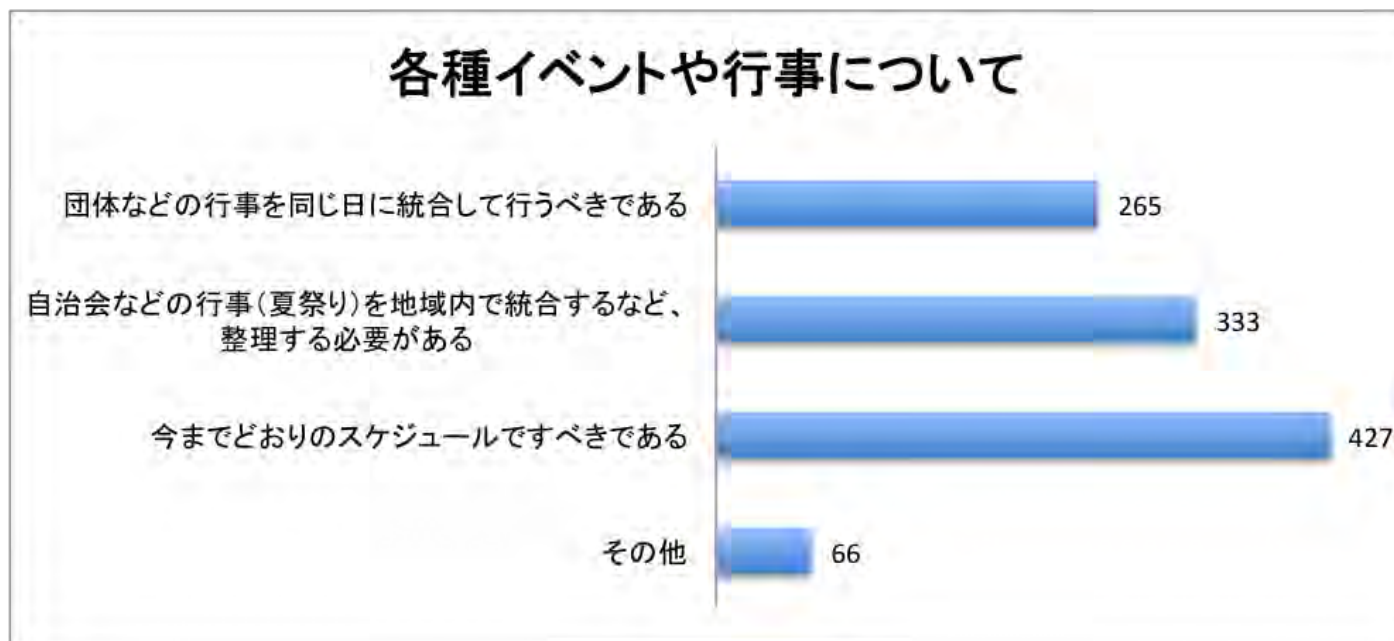


[その他]

- ・ 産科が少ない
- ・ 公園が汚い
- ・ 施設が古い
- ・ 各町の負担金がどのように使われているかの明確化
- ・ 内科等の医療機関の拡充
- ・ 病院が少ない
- ・ 観光事業の強化
- ・ 公園の遊具が少ない
- ・ 地域行事でご近所付き合いが希薄
- ・ 調整区域が多い
- ・ 新しく家を立てにくい
- ・ 付き合いで行事に参加しなければならないのは金銭的に大変そう
- ・ 景観が美しくない
- ・ 草刈りが負担になる
- ・ 北町、越水町住民のためバス停の新設をおねがいします
- ・ 問題意識が無い
- ・ 子供の気軽にいける遊び場がない
- ・ 継ぐ人というよりは耕作放棄者の土地の管理、草が困る
- ・ 閉鎖的、産業がない(人が少ないので、小売・サービス業)
- ・ 車に乗れなくなっても家の近くから乗り降りができるようになれば
- ・ 宣伝が下手だと思う、加西市全体的に言えること

在田地区の地域づくりについて

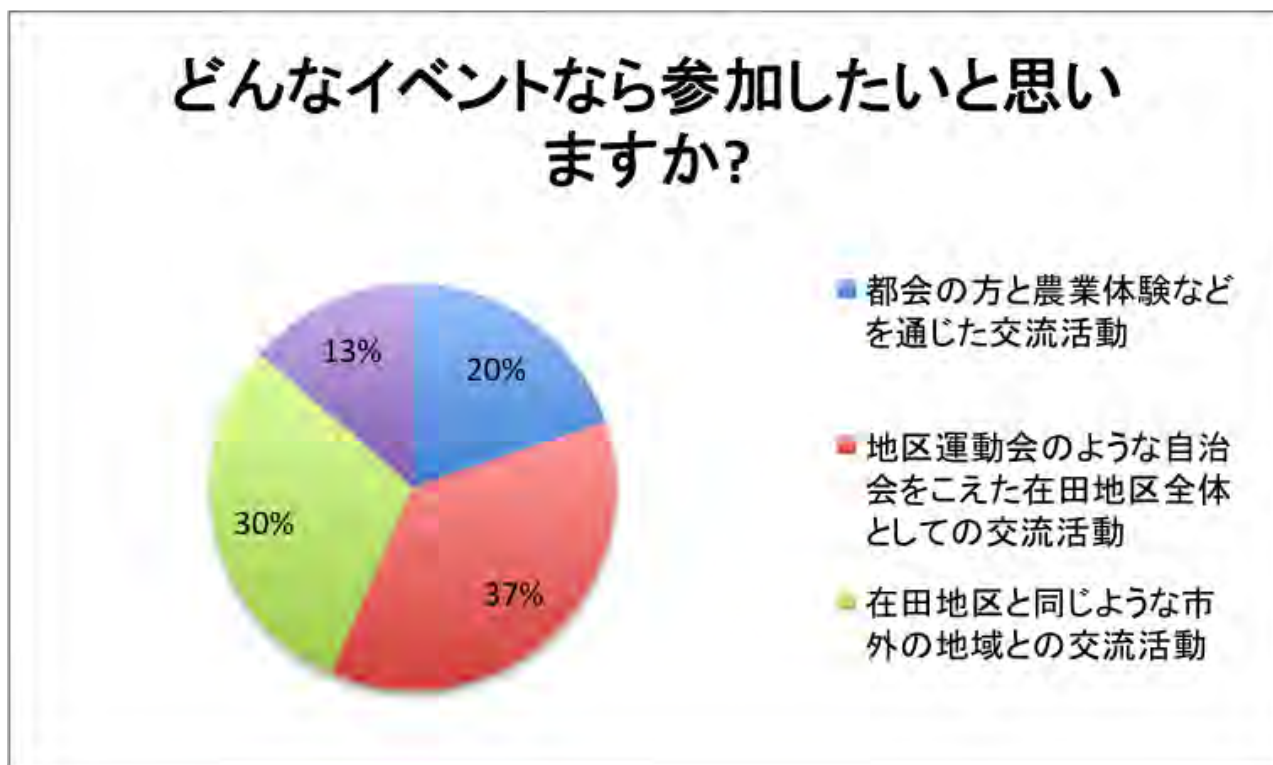
問 11 現在、在田地区内の各自治会や団体などで行われている各種イベントや行事について、どう思われますか。(複数回答可)



[その他]

- ・ 世代を超えた意見交換会
- ・ コロナで行けない
- ・ 年末の餅つきのあり方。大勢の人に還元されるように
- ・ 各行事の意味と意義と理解して開催すべき。行事がやっつけ仕事になっている
- ・ イベントが多い
- ・ 少子化で小学生の親の負担が増えている
- ・ 行事はもっと少なくていい
- ・ 参加したくない
- ・ イベントは必要ない
- ・ 自治会の行事に他地域からでも参加できる体制づくり
- ・ 行事は不要
- ・ 多様性を重視してほしい
- ・ 特に行事などなくとも普通に普段のせいかつを静かにして行きたい
- ・ 地域の魅力を発信して人が集まれるようなイベントをする
- ・ 皆無にする
- ・ 廃止も考える、時代に合わない行事が多すぎる
- ・ 齢なので出たくない
- ・ イベント行事はなくていい
- ・ 大変むずかしい事項です
- ・ もっと皆が参加したいと思うイベントを実施してもらいたい
- ・ イベント・行事の趣旨から見直すべき
- ・ 興味が無い
- ・ なくしてほしい
- ・ 強制しないでほしい
- ・ わからない
- ・ 過去に問題があったのなら改善したら良い
- ・ 行事のかぶりをなくしてほしい

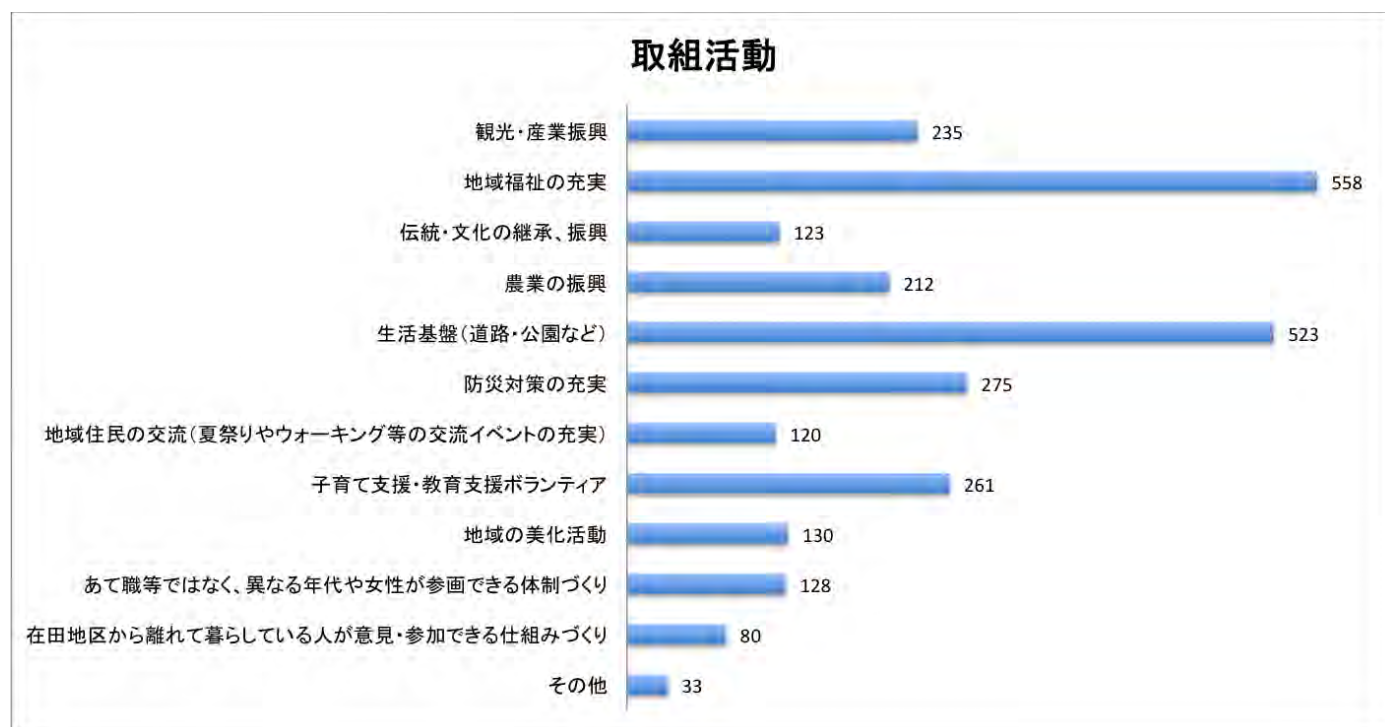
問 12 今後、在田地区で都市農村交流、地域間交流、世代間交流などのイベントを開催する場合、これらに参加するとすれば、どんなイベントなら参加したいと思いますか。



[その他]

- ・ 高齢者により外にあまりでない
- ・ 企業や団体の活動報告等への参加
- ・ 高齢のため参加は難しい
- ・ コロナで参加できない
- ・ 楽しいことが第一である
- ・ 増やすと参加者も実施者も負担が大きい
- ・ 分からない
- ・ イベントが多い
- ・ 平日は仕事で疲れるので休日はゆっくりしたい
- ・ あまり参加したくない
- ・ いつイベントが開催されたのか分からない
- ・ 必要はない
- ・ 参加しない
- ・ コロナ禍外出を控えている
- ・ 大規模になると管理が大変だからこじんまりとしたほうがいい
- ・ イベントがなくてもでかけたくなる場所がほしい
- ・ 腰痛のため参加したくない
- ・ 文化財や歴史探訪、自然が多いので探す
- ・ 皆無にして自由に暮らしたい
- ・ 参加したくない
- ・ 在田地区での交流も大切ですがまず町内での交流が活発になるよう多数の人々が参加するようなイベントを願いたい、又、町民の協力が必要です
- ・ 齢なので出たくない
- ・ 特に無い
- ・ 多くの人の興味があるイベント
- ・ イベントの趣旨による（何の為に等）
- ・ 共働世代で子供も習い毎をしていると、地域のイベントに参加する時間が難しい。
- ・ イベントが無くてよい
- ・ 参加したくない
- ・ 自分が必要だと思うことだけに
- ・ どれも参加したいと思わない

問 13 在田地区において、これから重要だと思う取組むべき活動は何だと考えますか。
(複数回答可)

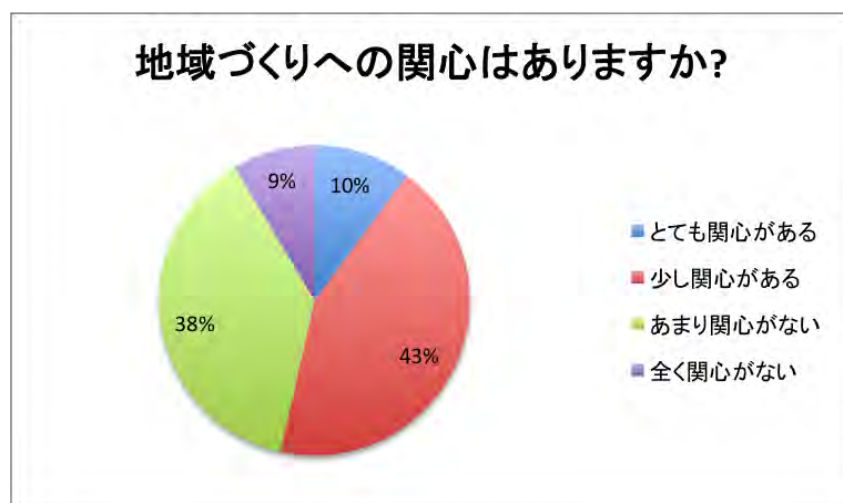


[その他]

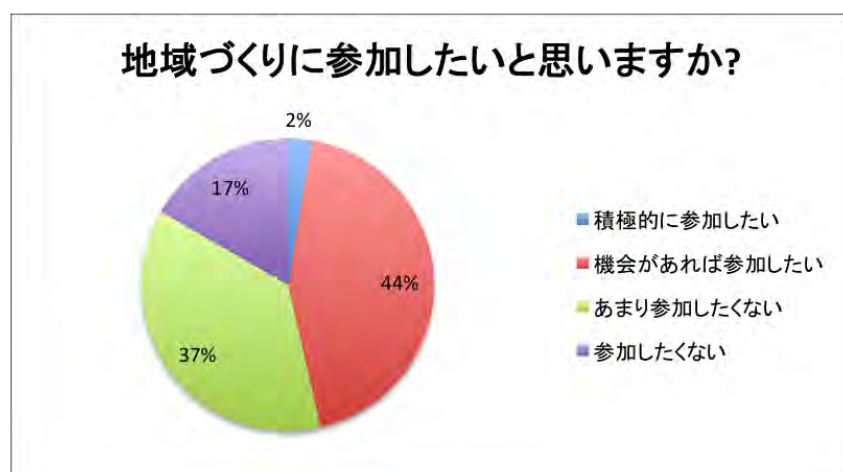
- ・ 交通の便を良くする
- ・ 施設の充実化
- ・ U,I ターンの促進による人口増と活性化
- ・ IT を使って活動できるように変わっていくことが必要
- ・ 在田地区に住みたいと思わせるような広報活動
- ・ 現役世代が仕事に集中できる活動
- ・ 公教育の充実
- ・ 特になし
- ・ オンラインで交流できる仕組みづくり
- ・ 鳥獣被害防止の編みの管理(周囲の掃除)
- ・ 病院や買い物などに自家用車がなくても行けるようにする
- ・ 特産物を加工販売する拠点づくり
- ・ 農地の地目変更を自由にできるようにする
- ・ あて職って何ですか？官公庁用語で一般向けの言葉ではないのでわかりません
- ・ 工場の誘致と農業以外は無駄
- ・ 道路、農地等ゴミのポイ捨てが多い
- ・ 特徴のある教育
- ・ 地域の環境を良くする（特に耕作放棄地問題）
- ・ 将来を見据えた取組み
- ・ トランジションタウン（相模原市緑区）の取組み
- ・ 高齢者が一人にならないよう、高齢者向けの集いの場があればいいと思う。
- ・ なくしてほしい
- ・ 市街化区域の拡大

問 14 在田地区では、これから取り組むべき活動の検討を進めています。以下の案のそれぞれについてどのようにお感じか、教えてください。

問 15 在田地区の地域づくりへの関心はございますか。



問 16 在田地区の地域づくりについて、参加したいと思いますか。



問 17 在田地区において、どんな地域づくり活動があれば参加してみたいですか。(自由記述)

【多世代の交流】

- ・ 子供や孫が幸せに暮らせるような地域になってほしい
- ・ 次の世代に引き継ぐ為の集い
- ・ 世代間交流など
- ・ 三世代交流
- ・ 地域との交流
- ・ 老若男女が参加できる活動団結と活力ある集落に改善できる活動
- ・ ふれあいフェスティバルのような活動の手伝い

【文化・歴史の調査・継承】

- ・ 伝統文化行事
- ・ 地域の歴史・文化の調査、広報
- ・ 世代を超えた神社などの歴史・文化を知るイベント
- ・ 文化の継承
- ・ お祭り等の文化
- ・ まつり

【スポーツ／運動会】

- ・ スポーツ大会
- ・ スポーツを通じた交流
- ・ 昔あったような運動会
- ・ 在田地区運動会
- ・ グランドゴルフ大会

【農業体験】

- ・ 農業体験の受け入れ
- ・ 農業体験
- ・ 農産物等を介したコミュニケーションづくり活動
- ・ 農産物研究会

【健康／福祉】

- ・ 健康づくり
- ・ 健康福祉のイベント
- ・ 福祉
- ・ 健康長寿対策

【美化運動】

- ・ 美化運動
- ・ クリーン活動
- ・ 地域の美化活動
- ・ 花の名所づくり

【ハイキング／ウォーク】

- ・ 最初は弁当持参でハイキング
- ・ ハイキング
- ・ 在田ふれあいウォーク
- ・ ウォーキング

【教育／学習】

- ・ 教育に関わること
- ・ スマホ教室みたいなもの
- ・ 学習講座

【音楽／芸術／演劇】

- ・ 演劇上演
- ・ 音楽や芸術が楽しめる会

【高齢者向けの活動】

- ・ 老人会の交流等があれば参加したい
- ・ 高齢者が集まれる場所があれば社会参加できるのでは無いかと思います
- ・ 老人会

【子供向けの活動】

- ・ 子供の参加できる活動
- ・ 土日の学童保育
- ・ 子供の体験会の充実

【若者向けの活動】

- ・ 若い人中心の活動
- ・ 婚活イベント

【フリーマーケット／朝市】

- ・ フリーマーケット
- ・ 野菜の朝市

【万願寺川の整備】

- ・ 万願寺川あたりを地域で利用できるように整備する、それが地域の活性化、地域交流になれば良いと思う

【新事業の立ち上げ】

- ・ 在田地区の新たな活性化や独自事業の立ち上げ

【ラジオ体操】

- ・ ラジオ体操

【子供の見守り運動】

- ・ 子供見守り隊

【意見交換会】

- ・ 街の将来について意見交流が出来る活動

【防災】

- ・ 災害に強い町になるには、の様な活動

【空き家活用】

- ・ 空家の活用

【家族向けの活動】

- ・ 料理教室、陶芸体験、家族で参加できるもの

【その他】

- ・ 趣味の同好会が増えてほしい
- ・ 歩道・抗弁・体育設備施設の充実
- ・ レクリエーション、ボランティア活動、
- ・ 子どもたちもすだち、地域行事から遠ざかっている、また、年金受給年齢も上がりまだまだ働きつづけなければならない状況のなか地域のことを考える余裕がなかった、今回主導して取り組んでくださっていることを知った。活動はよく知らない。
- ・ 交通の便が良くなり、市街地に気軽に行けるような町になれば良い
- ・ 皆が参加したいと思うような活動
- ・ 現在行われている行事をより充実する取り組み
- ・ 在田地区全体のイベントがあれば
- ・ 楽しみながら参加できる活動
- ・ イベントに参加しやすい環境
- ・ 市民の意見の通る活動車椅子生活のため参加は難しい
- ・ 高齢で参加が難しい
- ・ 足が悪いので参加できない体調が悪く参加できない
- ・ 老齢のため参加できるものに限りがあるりません、もし参加するのであれば、短時間で終わるモノ。
- ・ 市民に負担をかけすぎが余計に過疎化を招く
- ・ 地域参加行事のない自由な町

問 18 在田地区が将来、どのようなまちになれば良いとお考えですか。(自由記述)

【地域のまとまり】

- ・穏やかな雰囲気の近所付き合いが活発で、前向きな生活感を共有できる地域
- ・居心地のいい街
- ・みんなが仲良く活気がある街
- ・あいさつが活発な街づくり
- ・地域のつながりがある街
- ・人と人との絆がある地域コミュニケーションの形成
- ・各種活動による交流による連帯感
- ・人口の少なさを活かせる方策づくり
- ・外に出た人が帰ってきたくなるまちづくり
- ・困りごとに対して助けあえるようなまちづくり
- ・すべての人が平等で暮らせる地域
- ・おもいやりと助け合いのある地区にしたい
- ・隣近所が仲良くできる地域づくり
- ・互いに助け合いながら仲良く楽しく過ごせるよう望みます
- ・昭和の時代のように活気があって近所付き合いに悩まされない地区になること
- ・都会とは違う田舎ならではの人と人との触れあい・まとまり
- ・日常的にいつでも皆が集まって食事のできる所がほしい

【若者】

- ・若者をのびのびと育てられる街
- ・若者の多い街
- ・田舎の良さを若者に感じてもらえる地域づくり
- ・若者が田舎に帰ってきたくなるまちづくり
- ・若者が地域残留しやすい職場の確保
- ・今の中学生、高校生が他の地区に出る必要がないので就業場所の確保
- ・若い世代が住みやすい街
- ・若い世代が増え、活気ある地区になればいいですが
- ・若い人が多く働ける活気のあるまち
- ・若者も住みたくなる活性化された街
- ・若者が働ける企業の誘致
- ・田舎の良さを若者に感じてもらえる地域づくり
- ・若者が戻ってくる街
- ・若い人に戻ってきてもらいたい
- ・若い世代が住みたくなる活気のある地域になって欲しい
- ・若い世代の人が色々な行事に参加できる明るい町
- ・若い人が住みたいと思う、仕事があってスーパーがある、飲食店もたくさんある街

【子ども】

- ・子供にとって魅力ある地域・まちづくり
- ・子どもたちが市外に行かないでいてくれる町づくりを進めてほしい
- ・子どもたちが住みたいと思える街
- ・10代、20代の人負担とならないまち
- ・子どもたちの声が聞こえる街
- ・子供がおとなになっても住みたくなる街
- ・子供のげんきな声が聞こえる町
- ・昔のように子どもたちが外で楽しんで遊んでいるのをみたいです

【子育て】

- ・子供を生みたくなるような街づくり
- ・子育て支援、介護福祉に力を入れてほしい
- ・子育て支援や地域住民交流の充実
- ・子育て世代が住みやすくなれば良いなと思う
- ・街が好きで子供世代が帰ってくる地域づくり
- ・子育てしやすい地区
- ・子供の数が増え、賑やかにできれば嬉しい
- ・小学校を中心とした子育てしやすい街づくり
- ・子育て世代が住みやすいまちづくり

・子供の多い街

【高齢者】

- ・車に乗れなくなり、バスも止まらない、年寄に良い町を
- ・老人の住み良いまち
- ・高齢になっても安心して暮らせる地域
- ・高齢者一人になっても暮らしやすい街づくり
- ・高齢者が集まれる小会場を作って欲しい
- ・高齢者のための法律相談の設置
- ・老人世帯が増えるので支え合いやすい環境
- ・今のままだと高齢者は取り残されそう
- ・高齢で参加が難しい

【人口の増加】

- ・人口が増える方策
- ・誰もが住みたいと思える街
- ・都市の人たちが移住したくなるような街
- ・他地域の人が住みたくなる街
- ・U-ターンがしやすい街
- ・人口減を少しでも改善

【少子高齢化】

- ・少子高齢化対策を考えたまちづくり
- ・子供から高齢者までが住みやすい町になれば良い
- ・少子化、高齢化の進む中みんなで助け合い協力しようとする地域に

【3世代】

- ・子供から老人までが健やかに暮らせる町、田舎
- ・3世代共存
- ・子育て世代、老人世代が苦勞せずに暮らせる地区に
- ・三世代交流はあったほうが良い、地区の人の顔を覚えるため
- ・老若男女誰でも気楽に楽しく交流できる街
- ・若者と高齢者がともに元気になる街
- ・若い世代新しい住民と隔てなく交流できる地域

【道路の整備】

- ・生活道路の整備と耕作放棄地のないまちづくり
- ・道路が整備された安全なまちづくり
- ・（市へ働きかける）→主要道路は道幅を広く、そして歩道を設ける努力を。歩道は建物の関係で、とりあえず繋がっていても良いのでは。道路が整い美しいと、安全で豊かな地域である事が感じられます。
- ・往路が狭い、特に通学路
- ・上芥田の道を広く
- ・歩道を増やしてほしい
- ・安心安全なまちづくり

【生活利便性の向上】

- ・スーパーや薬局等の大型店の拡充
- ・田舎の方の利便性の向上
- ・歳がいても買い物病院に困らない町
- ・生活しやすい環境の街
- ・市街化区域だから宅地にできない
- ・調整区のため家を継げない、子供が住む家を建てれない
- ・車に乗れなくなっても、病院やお店に気軽に行けるようになりたい
- ・高齢、病気で運転できなくなったとき子供に迷惑はかけず受診したい

【公共交通】

- ・交通に便利な所
- ・交通の便が良くなってほしい
- ・交通が便利になれば

- ・交通の便が悪い
- ・交通の便、公共交通機関が不便
- ・病院が近く交通の便がよくなれば徒歩で行ける距離にあってほしい
- ・巡回バスの増加
- ・オンデマンドハイヤー実施による年代層を越えた触れ合いのあるまちづくり
- ・過疎化は仕方ないが、ワグモトハイヤーの実施等年齢を重ねても暮らしやすい地域になって欲しい

【農業】

- ・農業がしやすい町
- ・農業の耕作放棄地が少ないまちづくり
- ・田畑が重荷にならないまちづくり
- ・農業承継がうまくいくまちづくり
- ・家の集中化、田畑の集合化

【産業】

- ・産業団地で発展してほしい
- ・商業と産業が共有できる地域
- ・若者や高齢者が働く場所があって人口が増えること
- ・若者の起業の促進と企業誘致が活発な街
- ・産業団地計画に伴う若者の雇用

【歴史・文化財】

- ・歴史や伝統も大事ですが、若い世代のやり方を取り入れて変えていくことも大事だと思います。年寄り(権力者)重視の企画は参加する気もしません

【空き家／空き施設】

- ・空き家が多くなってきているので空き家が少なくなってほしい
- ・産業があつて空き家に人が来て活気が出る
- ・空き家対策
- ・工業団地の跡地を利用した施設を活用する産物の販売。交流施設を作り世代を終えた事業の創設
- ・空き家、田畑の荒廃がものすごいスピードで進むので山間部を支援してほしい、加西市もですが、こういう用紙はもっと薄く安くして節約してほしいです

【自然】

- ・自然豊かなまちづくり
- ・災害(土砂くずれ)ないように山を整備してほしい

【広報・PR】

- ・LINE や Twitter 等のスマホを利用した広報の充実
- ・全国の人々に在田のことを知ってもらう

【地域福祉・教育等】

- ・地域福祉の充実
- ・住民相互が声掛けできる街
- ・地域福祉の充実
- ・福祉の充実したまちづくり
- ・教育、医療、福祉が充実した街
- ・小中一貫校を実現させたい

【その他】

- ・新しい考えを取り入れられる街
- ・明るい在田地区
- ・娯楽が多い街になってほしい
- ・住んでる人が楽しいと思えるまちづくり
- ・娯楽が多い街
- ・穏やかで和気あいあいとした街になってほしい
- ・明るい地域
- ・変わらない環境を希望
- ・現状維持
- ・活力がある街

- ・事故の少ないまちづくり
- ・災害や事件事故が少ない街
- ・犬の糞が多すぎる
- ・公園を作るだけでなく人を呼び金を生む経済効果のあるところ
- ・今のままでいい。
- ・今のままでも良い。しかし今、何が問題とされていますか？そこを解決できるようにしてほしい。
- ・住みやすい地区
- ・活気のある人がよってくるまち
- ・ダイバーシティのある地区
- ・土地の資産価値があがる町
- ・現状維持
- ・活性化を切に望みます色々な活動があっても、参加する人は一部の人に限定され、各役員のための行事になっているのではないかと？もっと多くの人が気軽に参加できるような行事にしないと意味が無いのではないかと？参加型のイベントにこだわりすぎていないか？
- ・小学生。子ども会で参加させれば親もついてきてイベントが賑やかになると動員するのは、子供の休みも少なくなるので残念と思う。在田あいあいフェスで高齢者ゲートボーリ。子供映画とか何の目的・意味があるのかわからない。世代交流が目的であればもっとお互い関わる行事のほうが、目的を達成できるのではないかと。
- ・在田あいあいまちづくりに対する活動要項

在田地区小中高生向けアンケート 集計結果

配布戸数：

高校生以下のお子様が居られる
世帯に2部ずつ配布

回収数：195

問1 といあなたは^{ありたちく}在田地区が好きですか？

〔理由〕

- ・ なにもないから
- ・ 平和
- ・ 地域の行事などで近所の人と楽しめるから
- ・ 楽しいから
- ・ 小学校が家から近いから
- ・ 住んでいてそこまで良いとも悪いとも思ったことはない
- ・ 今のままでいいけど、もう少しお店があってもいいと思う
- ・ あまり興味をもったことはない
- ・ 安全だから
- ・ 平和で自由ですごい楽しいから
- ・ 風景がきれいだから
- ・ すこししやすいから
- ・ 友達が多いから
- ・ 遊ぶ場所が少ない、決められた場所しか無い(学校、家)
- ・ 他の所に行ったことはないが少しくらい田舎がすき
- ・ 様々な催しがおこなわれるから
- ・ 山にかこまれていて空気がきれいだから
- ・ 自然がいっぱいだし、毎朝のように近所の人同士が楽しそうに会話しているから
- ・ 遊ぶ場所がたくさんあったりするから
- ・ 人が温かくて良い
- ・ 道が狭い
- ・ きれいに管理されているところが多く暮らしやすいから
- ・ 店が少ない
- ・ 友だちがいるから
- ・ 静かでいいが駅まで遠すぎる
- ・ 自然がきれい、でも少し虫が多い
- ・ 田舎の静かさ
- ・ イベントなどがあるから
- ・ 公園がもっとほしい
- ・ 友達がいて楽しいから
- ・ 山がたくさんある所
- ・ 住んでいるから
- ・ いろいろな人が協力しているから
- ・ ゲームセンターなどの気が引けるものがないため
- ・ のどか
- ・ 自分の住んでいるだいすきなまち
- ・ 静かでリラックスできる環境
- ・ 自然が豊かな所
- ・ 自然が好きで空気が美味しい

- ・ 比較対象がないのでわからないが好き
- ・ 在田フェスティバルがあるから
- ・ 田舎だから
- ・ 不便なことが多い

- ・ ココに住んでいて楽しいというわけではないけど不便だとも思わないから
- ・ 山や田んぼが多くて自然がたくさんある
- ・ 平和

問2 ^{とい}在田^{ありた}の^{みりよく}魅力（よいところ）は^{なに}何ですか？ ^{りゆう}理由もあればおしえてください。

【自然・田畑・風景】

- ・ 自然を大切にしているところ
- ・ 平和、自然、優雅
- ・ 自然豊かで過ごしやすい所
- ・ 自然が多くあり、平和な暮らしがある所[→理由]自分たちが住んでいて自由に暮らせているのが都会に比べると良い点
- ・ 平和[→理由]自然が多くて犯罪が少ない
- ・ 自然が豊かな所[→理由]虫や魚がいっぱいいる
- ・ 自然を大事にしている
- ・ 自然
- ・ 虫が沢山いる
- ・ 自然
- ・ 生き物がつかまれる
- ・ 自然があり景色がいい
- ・ 自然豊か[→理由]オハツキイチョウなど
- ・ 自然がいっぱい[→理由]空気が美味しい
- ・ いこいの村の公園が楽しい[→理由]自然の空気を感じれる
- ・ 自然にあるものを残している[→理由]森などが残ってその季節に咲くものが見れるから
- ・ のびのび過ごせる所[→理由]都会ほどせまくなるしくない
- ・ 自然豊かなところ[→理由]建物ばかりより自然があったほうが良いから
- ・ 自然が豊か[→理由]緑が多い
- ・ いなか[→理由]自然豊か
- ・ 自然がいっぱいで明るい所
- ・ みどりが多い
- ・ 空気が良い
- ・ 田んぼがあつてのどか
- ・ 田んぼがあつて静かで良い
- ・ 展望台があること[→理由]景色がいい
- ・ 風景[→理由]きれいだから

【地域交流・人・行事】

- ・ 行事[→理由]子供から大人まで交流できるから
- ・ 住民同士の仲が良い[→理由]イベントなどで皆楽しく交流している
- ・ あいさつ[→理由]地域の人に挨拶をしているから
- ・ 人が優しい[→理由]挨拶したらかえしてくれる
- ・ フェスティバルがあるから[→理由]たのしい
- ・ あいさつ[→理由]出会うと挨拶する
- ・ 周りの人が優しいところ[→理由]挨拶をすると笑顔でかえってくる、通学中に見守ってくれる
- ・ 平和で自由。地域の方と距離が近いから楽しい[→理由]よく小学校のときとか歌を大声で歌ったりしてても何も言われないし、お年寄りの人とも仲良いから

- ・ 知らない人でも助けてる[→理由]登校中に困っていたら助けてくれるから
- ・ 挨拶などがたくさんできる[→理由]知らない人でも元気に挨拶をしているから
- ・ 地域で仲が良いところ[→理由]あいさつすると必ず返してくれる
- ・ 交流が多い
- ・ 元気あふれる所
- ・ 人が優しい
- ・ 老人が優しい所[→理由]笑顔が素敵
- ・ 地域の関わり等が強い
- ・ 町が平和で人とのふれあいが多い
- ・ 秋祭りがある
- ・ 近所の人ややさしい
- ・ 地域の人と交流できる機会がある
- ・ 地域の関わりが深い所
- ・ 行事が多い[→理由]賑やかで楽しいから
- ・ 地域の人が明るい[→理由]いつも出会ったら挨拶してくれるから

【田舎・のどかさ】

- ・ 田舎
- ・ おだやかであると思う
- ・ 平和
- ・ のんびりした田舎
- ・ 平和で汚い場所がない
- ・ 田舎
- ・ のんびりできる
- ・ のどかなところ
- ・ いなからしさ

【その他】

- ・ 広場など遊べるところがある[→理由]友達と遊べるから
- ・ ランドマークタワーがある、風工記が有名[→理由]加西のシンボルだから
- ・ 歩いて通学ができる所
- ・ 老人が多い
- ・ 全部
- ・ 古墳がある
- ・ 言葉では表せない雰囲気
- ・ 静かでなごか、住みやすい
- ・ 美味しいものがいっぱい
- ・ 皆和やか
- ・ 友だちと遊べるから
- ・ 学校が楽しいから

問3 ^{とい}在田^{ありた}の課題^{かだい}（わるいところ）は^{なに}何ですか？ ^{りゆう}理由もあればおしえてください。

【公共交通が不便・道路の整備】

- ・ 不便不安全 [→理由] バスや公共交通機関が無い夜道くらい
- ・ 歩道が少ない [→理由] 通学路が狭い
- ・ 車がないとどこにも行けない [→理由] 1 番近いスーパーまで 5 km くらいある
- ・ 交通の便が悪い [→理由] 加古川に行くときに不便
- ・ 道が狭い [→理由] 轢かれそうになった
- ・ 道が狭い [→理由] 学校に行く時車がそばを過ぎて怖い
- ・ 公共交通機関の便が少ない [→理由] 少し不便に感じる
- ・ 交通の便が悪い [→理由] 電車が通っていない
- ・ 交通の便が悪い
- ・ 電車が少ない
- ・ 交通の便が悪い
- ・ 公共交通が不便、田畑の野焼きがひどい、街灯が少ない
- ・ 公共交通が不便、コンビニが少ない
- ・ 歩道の草刈りが行き届いていない、歩道に農耕者の車が止めてある。[→理由] 通学に邪魔、困る
- ・ 公共の乗り物が少ないこと
- ・ 通学路が悪い
- ・ 店や交通機関が少ない、歩道の草刈りをしていない。通学時に大変
- ・ 都会に行くのに時間がかかる
- ・ 歩道が狭い

【店や遊び場の不足】

- ・ おもしろくない [→理由] 色んな理由もあるけど「在田地区といえば」と聞かれると思いつかないし自慢できる地区ではあまりない
- ・ 遊べる場所が少ない [→理由] 公園や遊具がない
- ・ お店などが少ない [→理由] 近くにお店があると小学生でも買い物ができるから
- ・ 遊ぶ場所が少ない、雨のときに遊ぶ場所がない [→理由] 公園や外で遊ぶところがなくて困っている
- ・ お店が少なく不便 [→理由] 今後少子高齢化が進んでいくなかで、今のままでは高齢者の生活が苦しくなっていくと思うから
- ・ ゆうぐのそろった大きい公園がない [→理由] 走り回れない
- ・ 店が少ない [→理由] 楽しめない
- ・ 商業施設がない
- ・ 遊べる場所が少ない
- ・ お店がすくない
- ・ 公園が少ない
- ・ 店が少ない
- ・ 他のところから来てくれる人が少ない [→理由] 気球をすすめるなどもっとすすめるなどしたほうがいいと思う
- ・ [→理由] 皆がルールを守っているから特に無い

【その他】

- ・ 学校に行く時たまに動物が死んでいるのを見ること [→理由] その動物がかわいそうだし、見ている方も嫌な気分になるから
- ・ ポイ捨て [→理由] 多いから
- ・ 楽しくない [→理由] 店が少ない
- ・ 友達と集まれるところが少ないイベントが少ない [→理由] 公園があれば皆と集まれる
- ・ 動物が死んでいる [→理由] 交通事故なので人間側のせいではない
- ・ ポイ捨て [→理由] 目立つ
- ・ 不便な所
- ・ 田んぼが多すぎる
- ・ 少子高齢化が進んでいるところ
- ・ 最寄り駅がなく不便
- ・ 産業や交通が発達していない
- ・ 挨拶をしないひとがいる
- ・ 観光地が少ない
- ・ 街灯などが少なくゴミが多い
- ・ 都会ではない
- ・ 工事が多い
- ・ 工業化しすぎ、ある程度自然を残してほしい
- ・ 何かと交通の面で不便
- ・ もっと遊べるところがほしい
- ・ ゴミが増えている
- ・ イベントが少ない、PR できるものがない
- ・ 獣が出てくる
- ・ 学校が遠い所
- ・ 魚が少ない、海がない
- ・ 人が少ない
- ・ 若い人が少ないところ
- ・ 田舎すぎる
- ・ 都会に行くには遠い
- ・ 蜂がじゃま
- ・ 暴走車がはしるので困る
- ・ 道が狭い、草刈りしていない
- ・ 施設などがなにもないところ
- ・ コンビニがない
- ・ ターザンロープがない
- ・ お店がすくない
- ・ 虫が多い
- ・ 子供の数が少ない
- ・ 東南アジアなど外国の虫がない
- ・ コロナが終わらないこと
- ・ 街灯が少ない
- ・ 食べるところがない
- ・ 虫が多い

とい あ り た お こ な も よ お さ ん か
問 4 在田で行われる催し（イベント）などには参加していますか？

とい お と な あ り た お も
問 5 あなたが大人になったとき、在田がどんなまちになっていればいいと思いますか？

【自然】

- ・ 子供が自然に触れている
- ・ 自然を残しつつ店を増やす
- ・ 自然があつてのびのび暮らせる所
- ・ 自然を残しながらテクノロジーを発達させる
- ・ 自然を生かしていて明るい町
- ・ 今と同じような自然豊かなところがいい
- ・ 今より自然豊かな町
- ・ 自然を大切にするまち
- ・ 自然が残っているまち
- ・ 自然と街が共存
- ・ 今と同じく虫がたくさんいてほしい
- ・ 自然の豊かさを残しつつ店や交通の面で発達してほしい
- ・ 住みやすい町、自然がそのままのまち

【歴史・文化】

- ・ 歴史のある建物がある街
- ・ いまのように祭り事などがあるまがいい
- ・ 古民家カフェとかできればいいな
- ・ 良い歴史や特産品などでさかえる活気のある街に

【発展】

- ・ 梅田のような町
- ・ 豊かな街
- ・ もっと過ごしやすい町
- ・ 少しお店が多くなったらいい
- ・ 発展していればいいなと思う
- ・ 飲食店もあって買い物する場所にしたい
- ・ 明るくておしゃれな町
- ・ 化学が発展していいまち
- ・ 有名な会社が来てほしい
- ・ どこの地域も活気があふれているまち
- ・ めちゃ大きいホテルが近くにある映画館もちかくにある

ちょっと贅沢なまち

- ・ 都会になったらいい

【その他】

- ・ 今と変わらず挨拶と笑顔の溢れる街
- ・ 町皆が協力して楽しい生活している
- ・ 溜池の水が出ないような町に
- ・ 過疎化はしないようにしてほしい
- ・ 安全な町
- ・ 皆が笑顔で暮らしているまちにしたい
- ・ 子供が安心して登校できるまち
- ・ リアルなまち
- ・ みんな仲いい花いっぱいのまち
- ・ 普通でいい
- ・ 適度に田畑があり寂しくないくらいの人工があるまち
- ・ 田舎すぎず、都会すぎず
- ・ 子供が楽しく過ごせて、自信をもって楽しく過ごせる地区
「ココに行きたい」と言ったときに在田地区内だったら嬉しい。近くで遊べる場所がほしい
- ・ 皆が仲いい町
- ・ 明るくあいさつができるような町
- ・ 有名になっているまち
- ・
- ・ げんきな町
- ・ 気持ちのいい町
- ・ 無料バスがあれば老人になっても困らない
- ・ 安心安全に子育てができるまち
- ・ ユニバーサルなまち
- ・ もっと過ごしやすく若い人が楽しめる施設を増えてほしい
- ・ 便利
- ・ 今も楽しいけどもっと楽しくなったらいい
- ・ 活気のある明るい町
- ・ 静かで高いビルなどが無い

- ・今のままの街の姿を維持してほしい
- ・家や店がいっぱいある
- ・笑顔のあふれる仲のいい町
- ・明るくて近所の方と仲のいい関係がきづけてほしい
- ・自転車でも通いやすいように道路の舗装が整った町
- ・たくさん人が住んでいるまち
- ・環境が良いこと
- ・人がたくさんいて明るい町、住みやすい町
- ・きれいな町
- ・就職の幅が広がっていると良い
- ・田んぼがきれい
- ・色々な面で住みやすい
- ・若者がずっとこの町にいたいと思える町
- ・みんなが仲良く協力できる町
- ・不便がない町になればいい
- ・仕事するところがあって安全な街
- ・公園がある街
- ・心豊かなまちにあってほしい
- ・ゴミとかが落ちていない町
- ・みんなが楽しく暮らせるまち
- ・みんなが住みやすく楽しい街
- ・考えたこと無い

- ・若者が住みやすい町
- ・今より住みやすいまち
- ・交通が便利になってほしい
- ・楽しいまち
- ・農業が豊か
- ・人やお店が一杯になってたらいい
- ・笑顔で溢れているまち
- ・今までどおりのまち
- ・にぎやかなまち
- ・にぎやかなまち
- ・一人ひとり全員が優しくできるまち
- ・遊ぶところがある街
- ・ポイ捨てがない町
- ・店がいっぱいある
- ・外に出たら世界中の虫がいる世界
- ・コロナがおわっている町
- ・人がたくさんいてきれいなまち
- ・平和
- ・みんなが過ごしやすい緑のある街
- ・田んぼや森林などが多くあり犯罪などが少なく、暮らしやすい今の状況が続いていけばいい
- ・子育てしやすい町

問6 といあなたが^{ありた}在田のためにできること(できそうなこと)はどんなことがありますか？

- ・ふるさと納税
- ・残ること
- ・今に続き挨拶、感謝を忘れず生活する
- ・募金
- ・清掃
- ・溜池の危ないところを調べる
- ・呼び込み(土地代が安いとか)
- ・お金を寄付する
- ・ゴミ拾いなど自然豊かでいいところを自分たちも受け継ぐ
- ・挨拶を積極的にしていき地区の雰囲気をもっとよくする
- ・おてつだい
- ・このままがいいから店とか増やしたり田んぼを減らさないこと
- ・花を植える
- ・在田地区に家族と住む
- ・JR つくって
- ・老人の人たちが多く、田や道を見つとものすごく草が多く「在田地区って老人の人が多いな」と感じてしまう時があるから、自分の家の近くからでもいいから草引きをする
- ・まつりごとなどには参加していきたいです
- ・自分からあいさつをする
- ・太鼓などでまつりの盛り上げ
- ・テクノロジーの重要性をとく
- ・明るい挨拶
- ・風邪などをひかないように体調管理をする
- ・住むこと
- ・なるべくイベントに参加する
- ・ボランティア
- ・できることゴミを分別する
- ・自然を大切に暮らす
- ・自然と産業の両立化
- ・イベントを開く
- ・地元で将来働く
- ・大人になったら在田地区で働く
- ・人を呼び込む

- ・ゴミ拾い、明るく挨拶する
- ・地域活性化につくしたい
- ・イベントに積極的に参加する
- ・加西在田で住み続ける
- ・祭りや行事の参加でイベントを残す
- ・協力して行事を開く
- ・いっぱい働くこと
- ・皆が楽しめる場を作る
- ・盛り上げる
- ・もっとイベント事などに自分から参加すること
- ・大きな病院を増やす
- ・在田で暮らし働くこと、特産品をPRする
- ・勉強を頑張る
- ・田んぼの手伝い
- ・農作業を手伝う
- ・木を増やす
- ・平和で仲良くらせること
- ・仲良く暮らすこと
- ・就職がしやすい
- ・建物をいっぱい建てる
- ・名物を作る
- ・人口を増やす
- ・行事への参加
- ・どんな人も笑顔でいること
- ・有名人になる
- ・博物館を作ること
- ・たのしいこと
- ・できるだけ長く滞在する
- ・募金
- ・自然を守るための活動
- ・今後田んぼなどが放置されることが多くなっていくと思うが、それを有効に利用して自分たちの生活に役立てられるようにする
- ・店を増やす

とい
問 7 あなたは将来、在田で働きたいとおもいますか？

とい
問 8 あなたは将来、在田で暮らしたいとおもいますか？

問 9 問 8 の質問についてそれぞれの回答に対してお答え下さい。

ii. ワークショップの実施

計画の素案作成にあたり、ワークショップを実施しました。令和元年度においては、理事会役員を対象として実施し、計画策定委員会設置後は、委員会メンバーで計7回、実施しました。当初に示した、全体のプログラムを以下に示します。

在田あいあいまちづくり協議会 まちづくり計画策定委員会 全体プログラム (案)

第1回 自分の区や在田地区の魅力と課題を考える

：第1回目は参加者の皆さんが話し合いの中で、自分の区や在田地区の課題や魅力を再確認していただきます。

- ★プログラム概要
- ・「地域づくり」の講話
 - ・自分の区と在田地区の魅力と課題を考える話し合い

第2回 在田地区の望ましい将来の姿を考える

：第2回目は、1回目で確認された課題や魅力から、在田地区が、どうなっていくのが望ましいのか、意見を出し合ってください。

- ★プログラム概要
- ・これまでに確認した魅力や課題の再確認
 - ・望ましい将来の姿を考える話し合い

第3回 在田地区を望ましい将来に近づけるためのアイデアを考える

：第3回目は、望ましい将来に近づけていくためには、どのようなことをすれば良いのか、活動のアイデアをそれぞれの立場から話し合ってください。

- ★プログラム概要
- ・前回まとめた望ましい将来の姿の再確認
 - ・望ましい将来を実現するためのアイデアの話し合い

第4回 望ましい将来につなげる活動アイデアのスケジュールを考える

：3回目で提案されたアイデアは、どのような段階を踏んで進めていけばよいのか、最初の段階から少し将来まで見据えてスケジュールを検討します。

- ★プログラム概要
- ・前回提案した活動アイデアの確認
 - ・最初の一步から将来まで、アイデアのスケジュールを考える

第5回 活動を実現していくために必要な運営体制を考える

：5回目で検討したプログラムを実際に進めていくには、どのような運営体制が必要なのか、今ある組織や人材の姿から話し合っていきます。

- ★プログラム概要
- ・前回まとめたスケジュール案の確認と検討
 - ・必要な運営体制のあり方を考える

※できればどこかで・・・ それぞれの区「紹介まち歩き」

：全体プログラムのどこかで、お互いの地区を自慢し合うつものの「相互紹介まち歩き」を実施できれば、お互いの理解がより深まります。

- ★プログラム概要
- ・各区相互の紹介まち歩き

①第1回プログラム

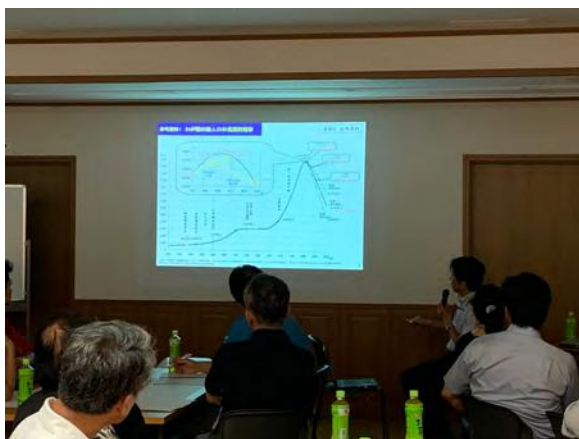
日時：令和元年7月18日（木）

参加者：約30人

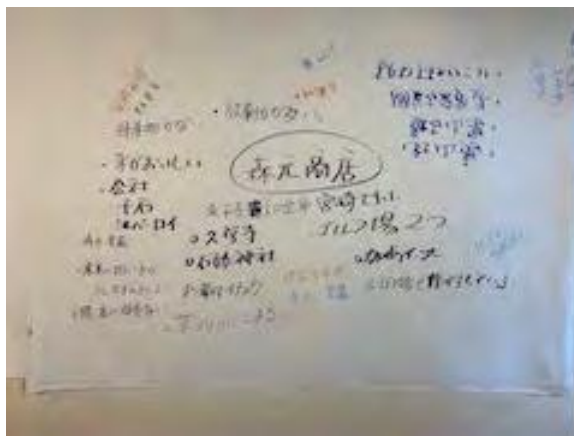
テーマ：自分の区や在田地区の魅力と課題を考える①

ワークショップの概要：

計画づくりに向けて、まずは自分の区や在田地区の魅力と課題を考えるため、ワールドカフェ方式によるワークショップを行いました。



▲ ワークショップの様子



▲ 模造紙メモ

在田あいまいづくり協議会 第1回WS ～自分の区や田地区の魅力と課題を考える～

「課題」

【鳥獣被害が多い】

- 鳥獣被害
- イノシシ、シカの被害多い
- シカ、イノシシが多い
- 住民より動物の数が多い

【少子化・高齢化・後継者の不足】

- 少子高齢化
- 年寄りが多い
- 介護が大変
- 少子高齢化顕著
- 若い人が出て行って帰ってこない
- 児童がいない
- 後継者がいない

【耕作放棄地・山の管理】

- 耕作放棄地が多い
- 放棄田が多い
- 山の管理ができない

【空き家が多く、店舗が少ない】

- お店が少ない
- 空き家と空き地が多い
- 空き家が多い

【公共交通機関の不足】

- 車がなければ生活できない

【法規制のため、家を建てられない】

- 調整区域等で家を建てたくても建てられない

「魅力」

【自然が豊かである】

- 自然が多い
- お葉付きイチヨウ
- 在田動物園（シカ、イノシシ）
- 人といきものの共生
- 在田水の園（池、川 etc）

【地域のまとまりが良い】

- 地域のまとまりが良い
- バレーボール・ソフトボール・花見会・亀山祭、まちぐるみで行っている
- 治安が良い

【災害が少なく、気候がおだやか】

- 災害が少ない
- 気候がおだやか

【お米と山田錦の産地】

- 米が美味しい
- 山田錦の作付けが多い

【おいしい飲食店が多い】

- おいしい飲食店がある
- 飲食店が多い

【車による交通の便が良い】

- 高速インターチェンジが近い
- 加西インターチェンジ
- 在田車の園（一家に5台）

【歴史があり、文化財が多い】

- 亀山焼
- 在田歴史園（石部神社、城跡、古墳）
- 歴史がある（根田女）
- 亀山古墳
- 長濱家古庭園
- 石部神社
- 阿弥陀寺（石仏33箇所）
- 中富町盆踊り
- 久学寺（忠臣蔵）
- いこいの村はりま

【気球の飛ぶまち】

- 気球

【元気の農業の担い手】

- 元気な農業担い手も割とおられる

【有名ブランド工場がある】

- アラジンブランド千石
- 元気なまち千石

【著名人の出身地】

- びんから兄弟出身地
- 永平寺貴主出身地（宮崎英保（エキホ）氏）

【在田美人の園】

- 在田美人の園

②第2回プログラム

日時：令和3年7月1日（木）

参加者：約20人

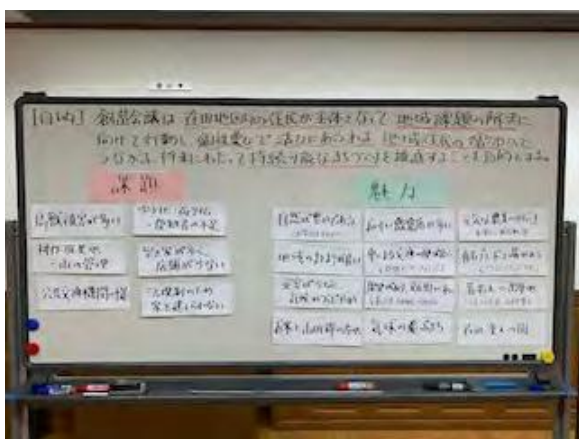
テーマ：自分の区と在田地区の魅力と課題を考える②

ワークショップの概要：

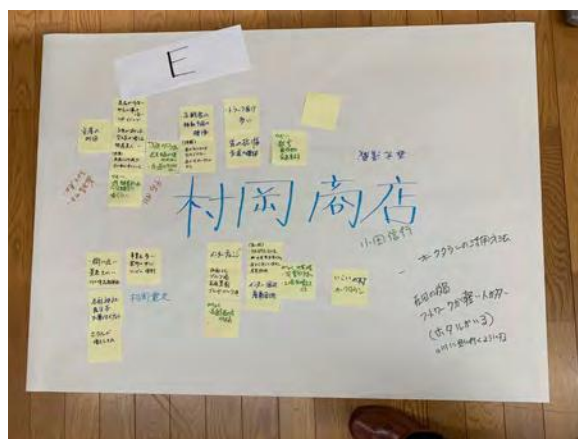
令和3年度には、有志を中心にあいあいまちづくり協議会内に「計画策定委員会」が設置されました。以後、計画策定はこの委員会が中心となり、理事会と連携して進めることとなりました。委員会では、まず令和元年度のワークショップで検討した、自分の区や在田地区の魅力と課題について確認しました。委員会には、新しい参加者もあるため、改めて自分の区や在田地区の魅力と課題についてのワークショップを行いました。みんなで話し合いながら、大きな模造紙に意見を書き込み、短冊用紙に魅力と課題についてまとめ、全員で意見の確認を行いました。



▲ ワークショップの様子



▲ 短冊用紙 意見まとめ



▲ 模造紙メモ

在田あいあいまちづくり協議会（令和2年度・令和3年度WSまとめ） ～自分の区や在田地区の魅力と課題を考える～

「魅力」

【歴史があり、文化財が多い】

- 亀山焼 ○ 亀山古墳
- 在田歴史園（石部神社、城跡、古墳）
- 歴史がある（根日女）
- 長濱家古庭園 ○ 石部神社
- 阿弥陀寺（石仏33箇所）
- 中富町盆踊り
- 久学寺（忠臣蔵）
- いこいの村はりま
- 文化財が豊富
- 祭り、太鼓が継承

【有名ブランド工場がある】

- アラジンブランド千石
 - 元気なまち千石
- ### 【工業団地がある】
- 工業団地に期待

【著名人の出身地】

- ひんから兄弟出身地
- 永平寺貴主出身地（宮崎奕保氏）

【おいしい飲食店が多い】

- おいしい飲食店がある
- 飲食店が多い

【気球の飛ぶまち】

- 気球の飛ぶまち

【公共施設が多い】

- 公共施設が多い

【在田美人の園】

- 在田美人の園

【自然が豊かである】

- 自然が多い・自然が豊か
- お葉付きイチヨウ
- 在田動物園（シカ、イノシシ）
- 人といきものの共生
- 在田水の園（池、川 etc）
- ホタル
- 田園風景

【健康維持に積極的である】

- 健康維持に積極的（100才体操）

【地域のまとまりが良い】

- 地域のまとまりが良い
- バレーボール・ソフトボール・花見会
- 亀山祭、まちぐるみで行っている
- 治安が良い
- 人とのつながりがある

【元気な農業の担い手】

- 元気な農業担い手も割とおられる

【災害が少なく、気候が穏やか】

- 災害・天災が少ない
- 気候がおだやか
- 山火事が少ない

【お米・山田錦の産地】

- 米が美味しい
- 山田錦の作付けが多い

【車による交通の便が良い】

- 高速インターチェンジが近い
- 加西インターチェンジ
- 在田車の園（一家に5台）

「課題」

【鳥獣被害が多い】

- 鳥獣被害
- イノシシ、シカの被害多い
- シカ、イノシシが多い
- 住民より動物の数が多
- 獣害対策

【高齢化】

- 少子高齢化
- 年寄りが多い
- 介護が大変
- 少子高齢化顕著
- 高齢のみ世帯が増えた
- 老々介護

【担い手の不足】

- 若い人が出て行って帰ってこない
- 後継者がいない
- 人手不足
- 美バース（廃品回収）ができない
- 草刈りができない

【耕作放棄地・山の管理】

- 耕作放棄地が多い
- 放棄田が多い
- 山の管理ができない
- 草多すぎたない

【公共交通機関の不足】

- 車がなければ生活できない
- 公共交通の便が悪い
- 公共交通の不備

【少子化】

- 少子高齢化
- 児童が少ない
- 子供の声が減った
- 子供や若者が少ない
- 独身者が多い

【道路環境が悪い】

- 道路事情が悪い
- 道幅が狭い
- 道路の整備
- 道路環境が悪い

【空き家の増加】

- 空き家と空き地が多い
- 空き家が多い
- 空き家の増加

【店が少なく買物に困る】

- お店が少ない
- 店ができるが長続きしない
- 買物に困る

【法規制のため建築できない】

- 調整区域等で家を建てたくても建てられない

【ソーラーパネルの増加】

- ソーラーだらけの傾向がある

③第3回プログラム

日時：令和3年8月5日（木）

参加者：約20人

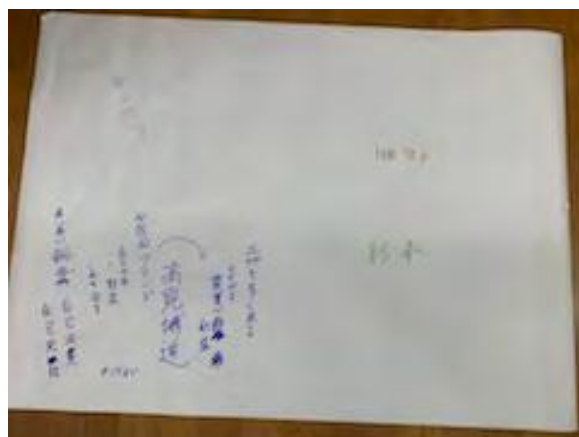
テーマ：在田地区の望ましい将来の姿を考える

ワークショップの概要：

前回話し合った、在田地区の魅力と課題について、確認をしました。前回の意見を元に作成した10個のテーマに分かれ、在田地区の望ましい将来の姿について、言葉でまとめる検討を行いました。最後に各テーマでの検討結果を、全体で共有しました。



▲ ワークショップの様子



▲ 模造紙まとめ

在田地区あいまいまちづくり協議会
「望ましい将来」を考える
まとめ

(令和3年8月5日実施WS)

在田あいまいまちづくり協議会の目的
：創造会議は、在田地区内の住民が主体となって、地域課題の解決に向けて行動し、個性豊かで活力にあふれる、地域住民の増加へとつながる、将来にわたって持続可能なまちづくりを推進することを目的とする。

農業	公共交通・道路
生涯楽しめる農業 稼げる農業(在田ブランド)	オンデマンドバス(タクシー)将来は自動運転で道路の幅、町と町を繋ぐ道路、歩道の完備
・生涯楽しめる。自分のために作る農業と、辛い農業ではな く、稼げる農業ができる環境を作りたい。在田ブランドを作り、 朝市などで販売できれば良いと思う。 ・若い人が農業専業で暮らせる環境を整えれば、農業が発展す ると思う。	・オンデマンドバスを運搬し、地域循環の交通体系を目指して いきたい。運転は将来的に自動運転になれば安心できる。歩 道が狭く、歩道が整備されていない道路が多いため、歩 行者が安全な危険。道路を拡張してほしい。
「生涯楽しめる農業と 稼げる農業がともにできるまち」	「多様な交通手段で 不便なく移動ができるまち」 「広い道路で安心して歩ける 道があるまち」

(凡例)	テーマ
望ましい将来(前回の意見)	
意見の内容	
望ましい将来像(案)	

歴史・文化財	自然
伝統の継承・保存 適度な活用を！ 自分たちの『まち』をもっと知ってPRできるように。魅力を発信できる『まち』	空気がおいしい『まち』
・自分たちのまちの魅力を、もっと発信できるようにしたい。 ・まちの名所や観光について、まずは住民が知る必要があ る。 ・歴史や文化の大切さがわかれば継承・保存に繋がり、それ が活用にも繋がる。	・アンケートから、自然環境がまちの魅力と考えられることが 分かった。総括して捉えると、この言葉になると思う。 ・いずれはコワーキングが実現できる環境になればいいなと思 う。
「歴史や伝統が継承され、 適度に活用されるまち」 「自分たちのまちの魅力を 発信できるまち」	「空気がおいしい自然豊かなまち」
子ども・少子化	高齢化
子どもが出て行かず、若者が入ってくるまち	子ども・少子化を解消する
・子どもたちは就職・大学という理由で都会に出ていき、その まま就職してしまう。また、家を建てる際にも、他の地域に建 ててしまい、そのまま出て行ってしまふ。 ・子どもが出て行かず、若者が入って来れば少子化問題が解 決できる。	・若者が増えれば高齢者の割合も減るのではと考える。
「子ども世代が住み続け、 若者が移住してくるまち」	「健康維持に熱心で、お互いが 助け合い、支え合えるまち」
住まい・空き家	地域のまとまり
空き家の活用→空き家を使った学童保育	まとまりは大事だが、一方で負担に(特に若者) これまでの風習の見直し
・近年空き家が増加しており、空き家の活用を検討した結果、 学童保育ができないかと考えた。 ・在田校区は区域が広いので、保育園の送迎などが親御の 負担になっている。そのため、各町に学童保育ができれば良 いと思う。	・地域のまとまりが逆に何となり、地域の付き合いに疲れる若 者が増えている。 ・年長者の意見が通ってきているため、新しい人や若い人の 意見も取り入れられるべきだと思う。昔の文化も継承しながら、お 互いの意見を尊重できる地域になれば良いと思う。
「空き家・空き施設が、地域の多世代 を支える拠点として活用されるまち」	「みんなの意見が尊重され、地域の つきあいが気持ちよくできるまち」

▲ 「望ましい将来」を考える まとめ

④第4回プログラム

日時：令和3年10月7日（木）

参加者：約20名

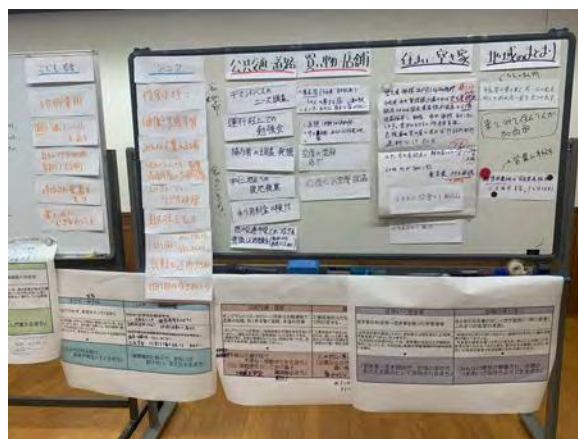
テーマ：在田地区の望ましい将来像を考え、実現するためのアイデアを考える

ワークショップの概要：

同時並行で実施していたアンケートの結果を報告し、前回のワークショップの振り返りを行いました。望ましい将来の姿についての意見交換と、必要な修正を行いました。その後、テーマ毎のグループに分かれ、望ましい将来の姿を実現するための具体的なアイデアを出しあうワークショップを実施しました。



▲ ワークショップの様子



▲ 短冊用紙 意見まとめ

在田地区あいまいまちづくり協議会
「望ましい将来」を考える
まとめ

令和3年8月5日実施WS→令和3年10月7日実施WS内容
を反映(アンダーライン箇所)

在田あいまいまちづくり協議会の目的
：創造会議は、在田地区内の住民が主体となって、
地域課題の解決に向けて行動し、個性豊かで活力
にあふれる、地域住民の増加へとつながる、将来
にわたって持続可能なまちづくりを推進すること
を目的とする。

農業	産業
生涯楽しめる農業 稼げる農業(在田ブランド)	進出企業の地元雇用と在田地区への定住
・生涯楽しめる、自分のために作る農業と、辛い農業ではな く、稼げる農業ができる環境を作りたい。在田ブランドを作り、 町市などで販路できれば良いと思う。 ・若い人が農業専業で暮らせる環境を整えば、農業が発展す ると思う。	・10周辺に産業団地が出来てきている。進出企業が地元の雇 用を生むことにより、地元への定住につながる良いと思う。 ・工業ができれば、人口も増えて活性化に繋がっている事例 もある。
「生涯楽しめる農業と 稼げる農業がともにできるまち」	「地元雇用が生まれ、 定住する人が増えるまち」
公共交通・道路	買い物・店舗
オンデマンドバス(タクシー)将来は自動運転で 道路の拡張、町と町を繋ぐ道路、歩道の完備	工業団地の人たちが利用できる店舗、在田地区 で用が足せる
・オンデマンドバスを実施し、地域循環の交通体系を目指して いきたい。運転は将来的に自動運転になれば安心できる。 ・道路が狭く、歩道が整備されていない道路が多いため、歩 行者が大変危険。道路を拡張してほしい。	・工業団地ができることで、若い人が住居を構えることが予想 される。若い人も買い物に不自由が無いように、衣類や食料 品などが揃おう店舗を誘致できれば良いと思う。 ・地区内で買い物、物を完結・循環できるようにすれば良い。
「移動困難者が多様な交通手段で 不便なく移動ができるまち」 「広い道路や舗道を 安全安心に歩いて動けるまち」	「人や物が集まり、必要なものが地区内 で揃う、買い物に不自由しないまち」 「魅力的な店があるまち」

歴史・文化財	自然
伝統の継承・保存 適切な活用を！ 自分たちの『まち』をもっと知ってPRできるよう に。魅力を発信できる『まち』	空気がおいしい『まち』
・自分たちのまちの魅力を、もっと発信できるようにしたい。 ・まちの名所や観光について、まずは住民が知る必要があ る。 ・歴史や文化の大切さがわかれば継承・保存に繋がり、それ が活用にも繋がる。	・アンケートから、自然環境がまちの魅力と考えられることが 分かった。総括して括ると、この言葉になると思う。 ・いずれはコウノトリが巣作りできる環境になればいいなと思 う。
「歴史や伝統が継承され、 適度に活用されるまち」 「自分たちのまちの魅力を 発信できるまち」	「水がきれい空気がおいしい 自然豊かなまち」
子ども・若者	シニア
子どもが出て行かず、若者が入ってくるまち	元氣なシニア・健康寿命をのばそう
・子どもたちは就職・大学という理由で都県に出ていき、その まま就職してしまふ。また、家を建てる際にも、他の地域に建 ててしまふ。そのまま出て行ってしまふ。 ・子どもが出て行かず、若者が入って来れば少子化問題が解 決できる。	・気軽な近所づきあい、地域活動に参加 ・適度な趣味、ストレスをなく、生涯学習・役割を持ち続け る。生きがい。
「子ども世代が住み続け、 若者が移住してくるまち」	「健康維持に熱心で、お互いが 助け合い、支え合えるまち」
住まい・空き家	地域のまとまり
空き家の利活用→空き家を使った学童保育	まとまりは大事だが、一方で負担に(特に若者) これまでの風習の見直し
・近年空き家が増加しており、空き家の活用を検討した結果、 学童保育ができないかと考えた。 ・在田地区は区域が広いので、保育園の送迎などが親御の 負担になっている。	・地域のまとまりが逆に仇となり、地域の付き合いに疲れる若 者が増えてきている。できているため、新しい人や若い人の 意見も取り入れられるべきだと思う。昔の文化も継承しながら、お 互いの意見を尊重できる地域になれば良いと思う。
「空き家・空き施設が、地域の多世代 を支える拠点として活用されるまち」	「みんなの意見が尊重され、地域の つきあいが気持ちよくできるまち」

▲ 「望ましい将来」を考える まとめ

⑤第5回プログラム

日時：令和3年11月2日（火）

参加者：約20名

テーマ：望ましい将来につなげる活動アイデアのスケジュールを考える

ワークショップの概要：

前回検討した、各テーマの望ましい将来像の姿と、その活動アイデアについて確認しました。その後、活動アイデアを実施するスケジュールや、アイデアの関係性を検討し、さらに、前回の意見から不足しているアイデアも追加しました。



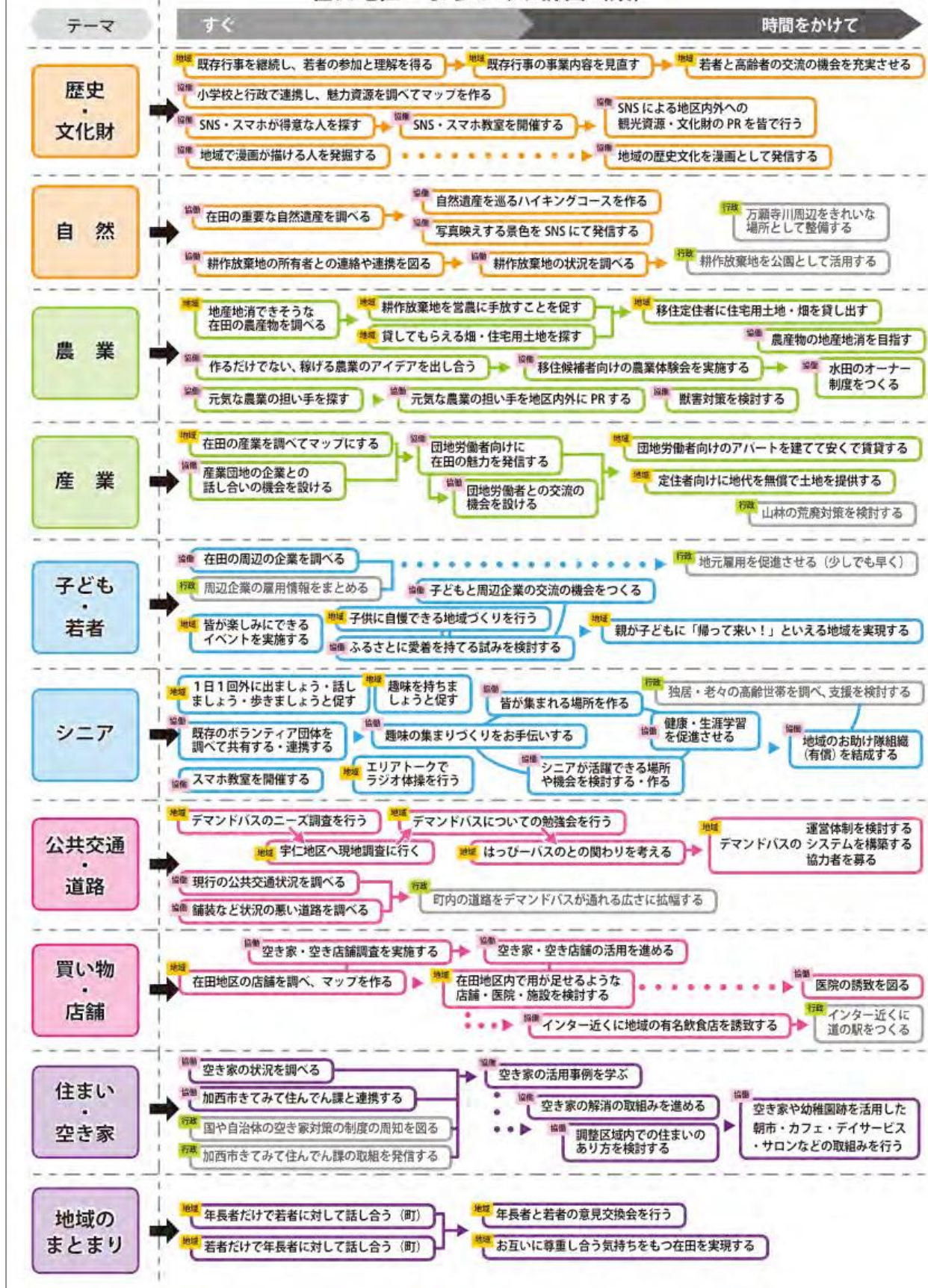
▲ ワークショップの様子



▲ 模造紙まとめ

在田地区 まちづくり計画（案）

R3.12.1



▲ まちづくり計画 活動方針案まとめ

⑥第6回プログラム

日時：令和3年12月1日（水）

参加者：約20名

テーマ：まちづくり計画（素案）と「運営体制」の検討

ワークショップの概要：

前回のワークショップを踏まえて修正した活動計画について、全体での確認を行いました。その後、活動計画の内容についてグループに分かれて話し合い、必要な修正を加え、最初に取り組むべき活動のアイデアと、主体的に取り組む団体・人について、検討を行いました。

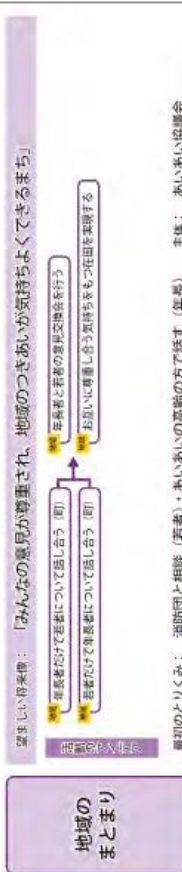
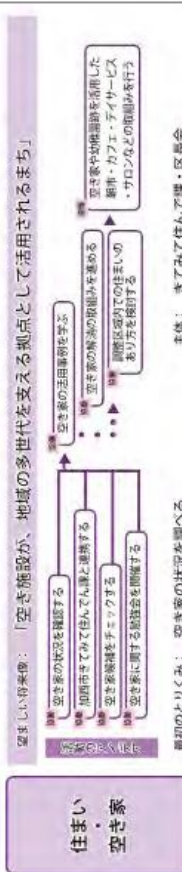
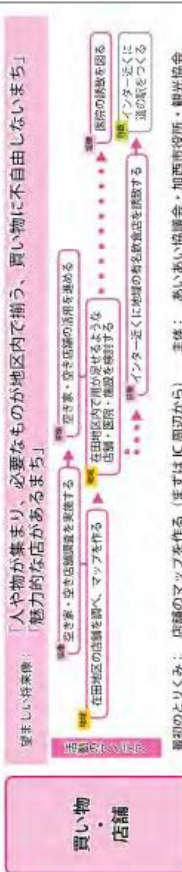
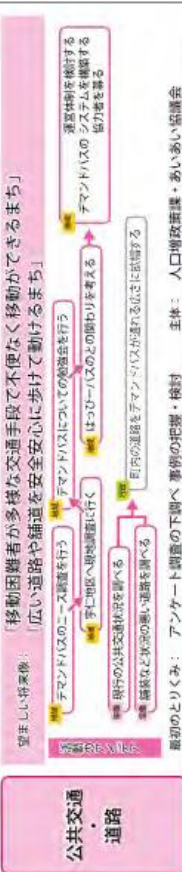
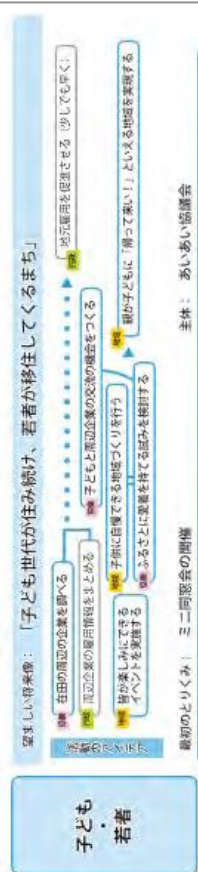
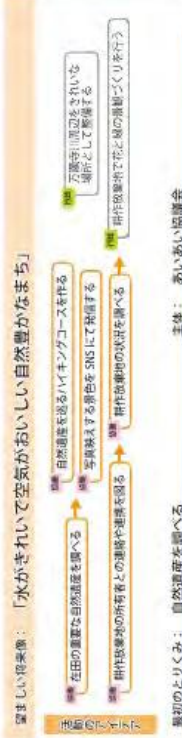


▲ 模造紙まとめ

在田地区まちづくり計画 活動方針

在田あいあいまちづくり協議会は、在田地区内の住民が主体となって、地域課題の解決に向けて行動し、個性豊かで活力にあふれる、地域住民の増加へとつながる、将来にわたって持続可能なまちづくりを推進することを目的としています。この実現に向け、地域のみんなで目指す、望ましいまちの将来像と、活動の計画をここにまとめました。

(凡 例)



⑦第7回プログラム

日時：令和4年2月8日（火）

参加者：約20名

テーマ：「望ましい将来像」の検討・「まちづくり計画」表紙の検討

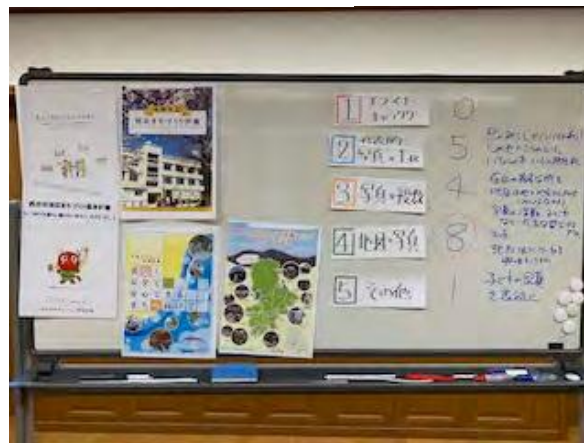
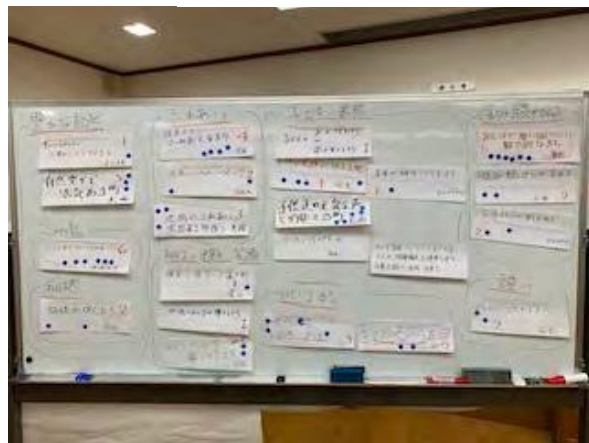
ワークショップの概要：

前回のワークショップを踏まえて修正した活動計画を、全体で確認しました。

その後、在田地区全体についての「望ましい将来像」を、一人ずつ短冊用紙に記入し、シール投票を行い、全員の意向を確認しました。また「まちづくり計画」を地域のみなさんの手にとってもらうために、どのような表紙が望ましいか、旗揚げアンケートによる全体の意見の確認を行いました。



▲ ワークショップの様子



▲ シール投票と旗揚げアンケートの結果

⑧第8回プログラム

日時：令和4年2月17日（木）

参加者：約20名

テーマ：「望ましい将来像」の検討・「まちづくり計画」表紙の検討

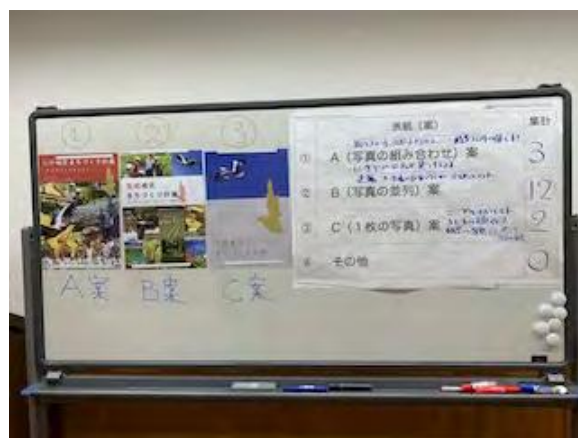
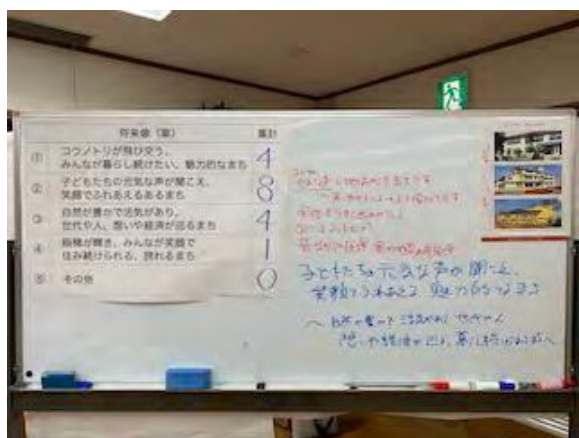
ワークショップの概要：

まず始めに、これまで作成したまちづくり計画の概要について全体で確認しました。その後、前回ワークショップで意見を出し合った、在田地区の望ましい将来像について、旗揚げアンケートによる意向の確認を行い、「子どもたちの元気な声が聞こえ、笑顔で触れ合える、魅力的なまち～自然豊かで活気があり、世代や人、思いや経済が巡る、暮らし続けられるまち～」という将来像に定まりました。

また、まちづくり計画書を皆さんの手にとってもらいやすいものとなるように、表紙の検討を旗揚げアンケートによって検討しました。



▲ ワークショップの様子



▲ シール投票と旗揚げアンケートの結果

(3) まちづくりへ向けた魅力と課題の整理

令和元年度、令和3年度に行った「自分の区や在田地区の魅力と課題を考える」ワークショップより、参加者から示された在田地区の「魅力と課題」についてのまとめを以下に示します。

「魅力」

【 歴史があり、文化財が多い 】

- 亀山焼 ○ 亀山古墳
- 在田歴史園（石部神社、城跡、古墳）
- 歴史がある（根日女）
- 長濱家古庭園 ○ 石部神社
- 阿弥陀寺（石仏 33 箇所）
- 中富町盆踊り
- 久学寺（忠臣蔵）
- いこいの村はりま
- 文化財が豊富
- 祭り、太鼓が継承

【 有名ブランド工場がある 】

- アラジンブランド千石
- 元気なまち千石

【 工業団地がある 】

- 工業団地に期待

【 著名人の出身地 】

- ぴんから兄弟出身地
- 永平寺貫主出身地（宮崎奕保氏）

【 おいしい飲食店が多い 】

- おいしい飲食店がある
- 飲食店が多い

【 気球の飛ぶまち 】

- 気球の飛ぶまち

【 公共施設が多い 】

- 公共施設が多い

【 在田美人の園 】

- 在田美人の園

【 自然が豊かである 】

- 自然が多い・自然が豊か
- お葉付きイチヨウ
- 在田動物園（シカ、イノシシ）
- 人といきものの共生
- 在田水の園（池、川 etc）
- ホタル
- 田園風景

【 健康維持に積極的である 】

- 健康維持に積極的（100 才体操）

【 地域のまとまりが良い 】

- 地域のまとまりが良い
- バレーボール・ソフトボール・花見会
・亀山祭、まちぐるみで行っている
- 治安が良い
- 人とのつながりがある

【 元気な農業の担い手 】

- 元気な農業担い手も割とあられる

【 災害が少なく、気候が穏やか 】

- 災害・天災が少ない
- 気候がおだやか
- 山火事が少ない

【 お米・山田錦の産地 】

- 米が美味しい
- 山田錦の作付けが多い

【 車による交通の便が良い 】

- 高速インターチェンジが近い
- 加西インターチェンジ
- 在田車の園（一家に 5 台）

「課題」

【鳥獣被害が多い】

- 鳥獣被害
- イノシシ、シカの被害多い
- シカ、イノシシが多い
- 住民より動物の数が多い
- 獣害対策

【高齢化】

- 少子高齢化
- 年寄りが多い
- 介護が大変
- 少子高齢化顕著
- 高齢のみ世帯が増えた
- 老々介護

【担い手の不足】

- 若い人が出て行って帰ってこない
- 後継者がいない
- 人手不足
- 美バース（廃品回収）ができない
- 草刈りができない

【耕作放棄地・山の管理】

- 耕作放棄地が多い
- 放棄田が多い
- 山の管理ができない
- 草多くきたない

【公共交通機関の不足】

- 車がなければ生活できない
- 公共交通の便が悪い
- 公共交通の不備

【少子化】

- 少子高齢化
- 児童が少ない
- 子供の声が減った
- 子供や若者が少ない
- 独身者が多い

【道路環境が悪い】

- 道路事情が悪い
- 道幅が狭い
- 道路の整備
- 道路環境が悪い

【空き家の増加】

- 空き家と空き地が多い
- 空き家が多い
- 空き家の増加

【店が少なく買物に困る】

- お店が少ない
- 店ができるが長続きしない
- 買物に困る

【法規制のため建築できない】

- 調整区域等で家を建てたくても建てられない

【ソーラーパネルの増加】

- ソーラーだらけの傾向がある

第3章 在田地区が目指す将来像

これまでの検討結果を元にまとめた、在田地区が目指す将来像と、まちづくりの基本方針を、以下に示します。

(1) まちづくりの将来像

子どもたちの元気な声が聞こえ、笑顔でふれあえる、魅力的なまち

～自然が豊かで活気があり、世代や人、思いや経済が巡る、暮らし続けられるまち～

(2) まちづくりの基本方針

i. 歴史・文化財

「歴史や伝統が継承され、適度に活用されるまち」

「自分たちのまちの魅力を発信できるまち」を目指します

在田の住民は、自分たちのまちの名所や歴史的資源について、必ずしも十分に知っているわけではありません。もっと自分たちのまちの歴史や文化財などの資源を知り、大切さが分かれば、その継承・保全につながり、自ら魅力を発信できるようになります。そして活用においては、住民に過度な負担を掛けるものでなく、住民自らが楽しみ、誇りを持って取組むことができるようになる、そのようなまちを目指します。

ii. 自然

「水がきれいで空気がおいしい、自然豊かなまち」を目指します

全住民を対象としたアンケートでは、「自然の豊かさ」が在田の重要な魅力であることが確認できました。それは、「水がきれい」「空気がおいしい」という言葉で総称することができます。「自然の豊かさ」が、コウノトリの巣づくりもできる環境づくりにつながる、そのようなまちを目指します。

iii. 農業

「生涯楽しめる農業と稼げる農業がともにできるまち」を目指します

農業には、自分のために作る、自己完結型の自己消費の農業と稼ぐための農業があります。どちらも辛い農業であってはならず、生涯楽しめる農業と、稼げる農業が両立できるようなまちを目指します。特に稼げる農業のためには、在田のブランドづくりや朝市などを検討・実施し、若い人でも専業農家で暮らしていける環境を作り、農業の発展を目指します。

iv. 産業

「地元雇用が生まれ、定住する人が増えるまち」を目指します

加西インターチェンジ周辺には、間もなく「加西インター産業団地」がまちびらきします。これを好機と捉え、進出企業が地元の雇用を生むように促し、また働く人が在田に定住してもらえるように取り組みます。地元雇用と定住人口の増加を目指し、在田の活性化につなげます。

v. 子ども・若者

「子ども世代が住み続け、若者が移住してくるまち」を目指します

在田で育った子どもたちの多くは、進学・就職という理由で都会に出てしまい、そのまま戻って来ないという現状があります。子どもたちが育った後も出て行かず、若者が入ってくるようになれば、少子化・高齢化の問題は解決できます。産業や雇用、家を建てる場所など、他のテーマと連携し、子ども世代が住み続け、若者が新たに移住してくるまちを目指します。

vi. シニア・福祉

「健康維持に熱心で、お互いが助け合い、支え合えるまち」を目指します

長く人生を過ごしてきた方々を「高齢者」ではなく「シニア」として捉え、元気に活躍していただけるようにする必要があります。在田のシニアの皆さんは、自分自身の健康維持に熱心に取り組んでおられるので、それを継続します。それと同時に、自身が弱った時に、また社会的に弱い立場にある人とも、互いに助け合い、支え合えるまちを目指します。

vii. 公共交通・道路

「移動困難者が多様な交通手段で、不便なく移動ができるまち」

「広い道路や舗道を、安全安心に歩いて動けるまち」を目指します

高齢化に伴い、買い物や通院などに困難をきたす方々が、これから増加してくることが見込めます。そのため利用者のニーズに合わせた「デマンド型交通」について検討し、将来的な自動運転も視野に入れ、多様な形で不便なく移動ができる地域循環型の交通体系づくりを目指します。同時に、既存の道路についても調査等を行い、歩行者や自動車交通において、安全安心に移動するための改善を目指します。

viii. 買い物・店舗

「人や物が集まり、必要なものが地区内で揃う、買い物に不自由しないまち」

「魅力的な店があるまち」を目指します

在田地区内の店舗は、昔に比べ減少し、買い物が困難な住民も増えてきています。一方で「加西インター産業団地」ができることで、新たな買い物ニーズも予想できます。衣類や食べ物などの店舗を誘致し、必要なものが在田の中で揃い、買い物に不自由しないまちを目指します。また、インターチェンジ近くにあるという立地を生かし、魅力的な店舗の誘致を図り、人や物が集まり、経済が循環する地区を目指します。

viii. 住まい・空き家

「空き家・空き施設が、地域の多世代を支える 拠点として活用されるまち」を目指します

現在、在田地区でも空き家が増えてきており、今後も増加が見込まれます。新しい住民を外部から迎え入れることも重要ですが、積極的に地域のために活用するのがより望ましいです。学童保育や、地域福祉に関連する施設など、現在不足気味の地域の多世代を支える拠点として、空き家や空き施設が活用されるまちを目指します。

x. 地域のまとめ

「みんなの意見が尊重され、 地域のつきあいが気持ちよくできるまち」を目指します

長く在田に暮らしてきた世代と、子どもたちの若い世代とでは、地域でのつきあいに関する考え方が異なります。それぞれの立場を尊重し、意見を互いによく聞いて、よりよい中間的なあり方を検討する必要があります。その上で、地域のつきあいが互いに気持ちよくできるまちを目指します。

(2) 今後の活動計画

在田あいあいまちづくり協議会（ふるさと創造会議）は、安心安全で魅力ある地域をつくっていくために、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という姿勢で、多様な地域住民の参画のもと、各種団体との協働により地域の課題や特色に応じた様々な活動を行います。

在田地区では、委員会での検討のもと、10のテーマで活動の方針を決めました。以下に、各テーマの望ましい将来像と、活動方針及び最初に取り組むべき活動を示します。

i. 歴史・文化財

在田地区の歴史や伝統を次世代に継承し、それらを観光資源・文化財として、適度に活用する地域振興が行えるまちを目指します。また、自分たちの住む在田の地域資源を認識し、それらの魅力を発信できるまちを目指します。

最初の取組として、あいあいまちづくり協議会が主体となり、在田の歴史や伝統を改めて見直すことで、地域に住む私たち自身が理解を深めることから始めます。古くから残る言い伝えや伝説についても調査を行い、伝記や看板を作成し、目に見える形で残すことで、次世代への継承を図ります。同時に、既存行事を継続しつつ、見直しを図り、若者が参加しやすい・したくなる内容へと見直します。

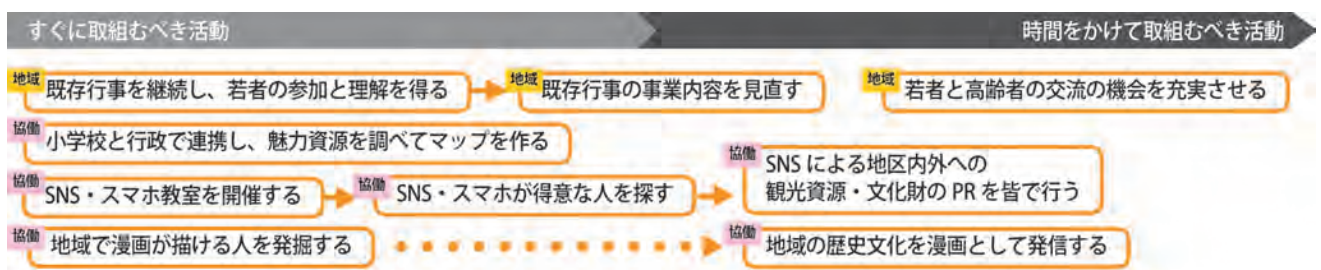
また、あいあいだよりの改善や地域のマップ作成など、紙ベースによる情報発信に加え、インターネットや SNS、漫画を活用した発信を行うことで、若者や地区外の人々にも興味を持ってもらえるような情報の発信方法を検討します。そのために、SNS・スマホ教室を地域で開催し、地域の皆がインターネットや SNS を活用した情報の発信・受信が行えるようになることを目指します。

望ましい将来像

「歴史や伝統が継承され、適度に活用されるまち」

「自分たちのまちの魅力を発信できるまち」

活動のアイデア



最初のとりくみ： **在田の歴史を見直す**

主 体： **あいあいまちづくり協議会**

ii. 自然

在田地区の誇る、豊かな自然環境を守り育てることで、水がきれいで空気が美味しい、自然豊かなまちを目指します。

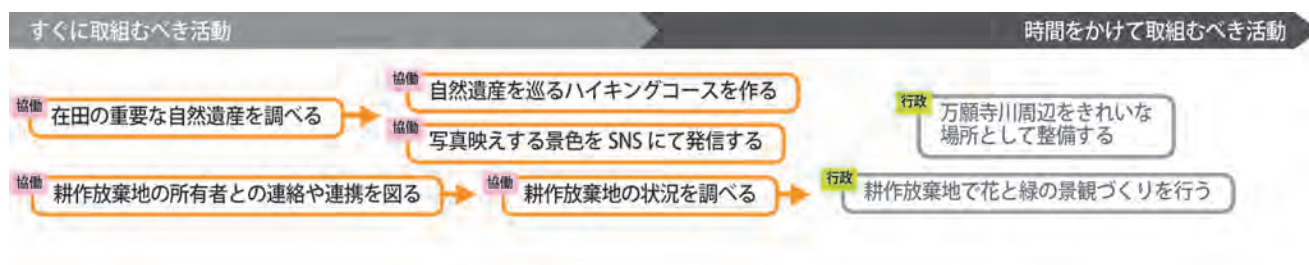
最初の取組として、あいあい協議会が主体となり、在田地区の重要な自然遺産を調査します。その後、それらを活用したハイキングコースの策定や、自然遺産等の写真を SNS 等で発信することで、地区内外に向けた情報発信を行います。

また、耕作放棄地についても調査を行い、現在の課題状況等を行政と共有することで、耕作放棄地での花と緑の景観づくりなど、地域の魅力を向上させる活動に繋げていきます。

望ましい将来像

「水がきれいで空気がおいしい、自然豊かなまち」

活動のアイデア



最初のとりくみ： 自然遺産を調べる

主 体： あいあいまちづくり協議会

iii. 農業

自分たちが育てた作物を自分たちで消費する、生涯楽しめる農業が行えるまちを目指すと共に、農業を職業として、収入を得ることができる環境を整えることで、稼げる農業ができるまちを目指します。

最初の取組として、これらの実現に向けて、検討を共に進める協力者を探すことから始めます。

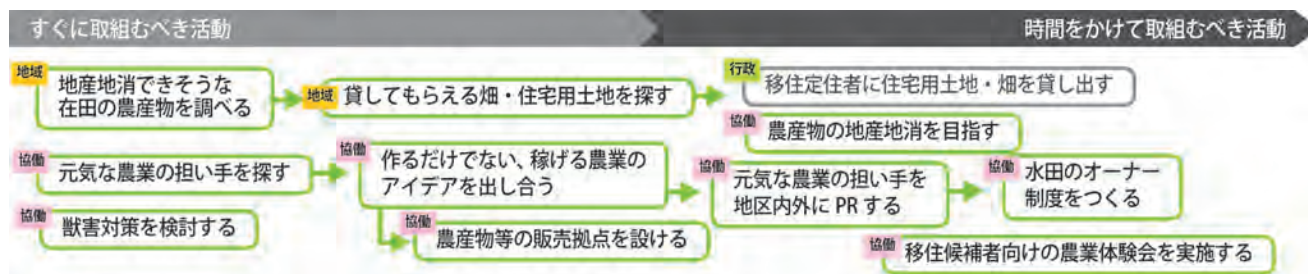
生涯楽しめる農業を実現させるための取組としては、まずは地産地消できそうな在田の農産物を調べます。また、耕作放棄地など、貸してもらいやすい農地を調査し、行政と連携し、移住者定住者が利用できる環境づくりに取組みます。

稼げる農業を実現させるための取組としては、まずは元気な農業の担い手を探して協力を要請し、農作物を販売するだけに留まらない企画や制度といった面から、稼げるアイデアを出し合い、新しい農業の手法を検討します。将来的には、その担い手の地区内外への発信、農業の体験会、水田のオーナー制などを通じ、農業の発展と活性化を目指して、地区外からの移住者や、専業農業従事者を募り育てます。

望ましい将来像

「生涯楽しめる農業と稼げる農業がともにできるまち」

活動のアイデア



最初のとりくみ： まち協に協力してくれる元気な農業の担い手を探す

主 体： あいあいまちづくり協議会

iv. 産業

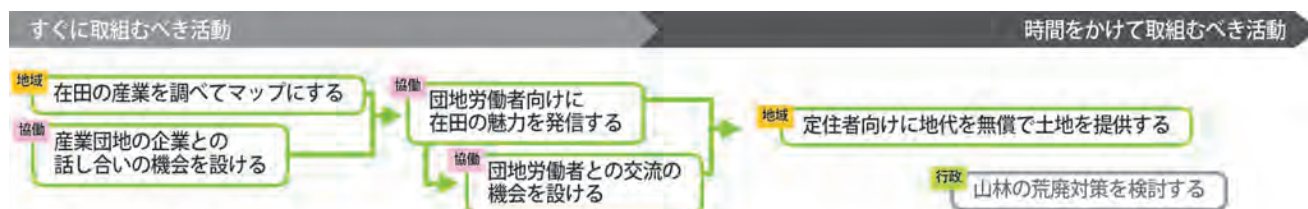
在田地区の地元雇用が多く生まれ、定住する人が増えるまちを目指します。

最初の取組として、在田に新たに生まれる産業団地の企業の人々と話し合い、交流する機会を設けます。産業団地で働く人々との対話を通じ、在田に対してどのような期待や要望を持っているのかを確認します。また、新しく移住してきた人々に向けて、在田の持つ魅力を発信することで、在田に魅力を感じて定住してくれる人を増やします。そのために、在田の産業を調査し、分かりやすいマップを作成する、地代を無償で提供できる土地を募るなどの取組を行っていきます。

望ましい将来像

「地元雇用が生まれ、定住する人が増えるまち」

活動のアイデア



最初のとりのくみ： 産業団地の企業との話し合いの機会を設ける

主 体： あいあいまちづくり協議会・区長会

v. 子ども・若者

在田で育つ子どもたちの世代が地元に住み続けるまちを目指すとともに、若い世代が新しく在田に移住してくるまちを目指します。

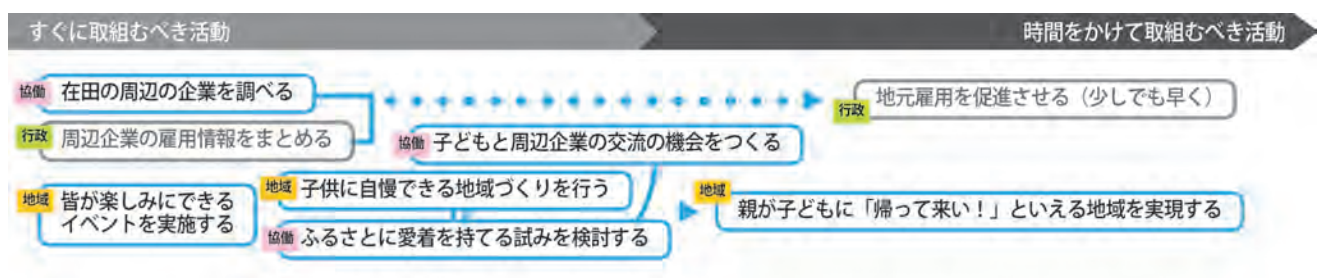
最初の取組として、在田のミニ同窓会を開催し、親の世代が交流を深めます。そして、皆が楽しみにできるイベントを検討し、実施していくことを目指します。また、子どもたちの世代に向け、在田の魅力づくりや歴史や伝統の継承、地区内の周辺企業との交流の機会を設けるなど、ふるさと・在田に対する愛着を育む活動を実施します。

これらの活動を通して、在田に住む大人達が、子ども達に自慢でき、「帰ってこい！」と自信を持って言える地域づくりを行います。

望ましい将来像

「子ども世代が住み続け、若者が移住してくるまち」

活動のアイデア



最初のとりのくみ： ミニ同窓会を開催する

主 体： あいあいまちづくり協議会

在田に住まうシニア世代が、健康維持に熱心で、お互いが助け合い、支え合えるようなまちを目指します。

最初の取組として、シニア世代が自ら情報を得て、社会とのつながりをより良く行えるように、行政との協力によるスマホ教室を開催します。

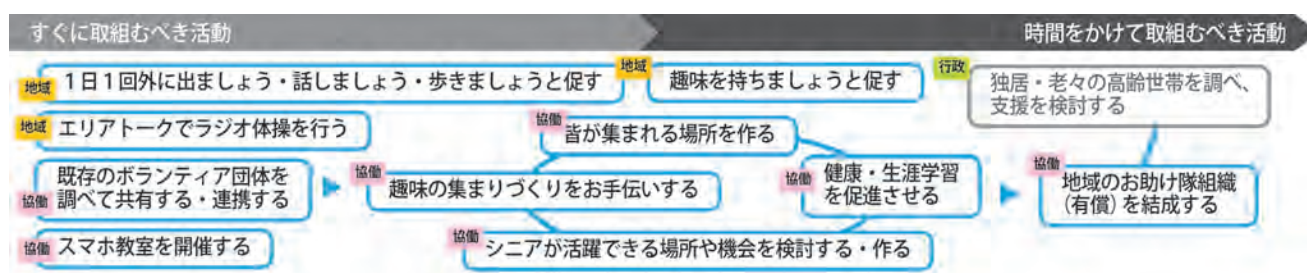
また、日常的に外に出て、社会と関わる習慣を持つことを促します。そのため、趣味の集まりづくりや、健康・生涯学習の促進など、シニア世代が地域で活躍できる場所や機会を検討し、シニア世代が自ら活動できる拠点を設けます。また、それらの準備にあたって、シニアを支援する既存のボランティア団体を調べ、連携することで、どのような支援が必要であるかの検討を行います。

将来的には、行政と連携した地域のお助け隊組織を結成するなど、シニア世代が地域で活躍できる環境を整えることで、お互いが助け合い、支え合えるまちを目指します。

望ましい将来像

「健康維持に熱心で、お互いが助け合い、支え合えるまち」

活動のアイデア



最初のとりくみ： スマホ教室を開催する

主 体： あいあいまちづくり協議会

vii. 公共交通・道路

在田に住まうすべての方々が、多様な交通手段により、不便なく移動ができるまちを目指します。また、安全安心に歩いて動けるまちとして、広い道路や舗道の整備を目指します。

地域主体型交通（デマンドバス・タクシー等）などの新しい交通手段を検討し、地域内で誰でも安心して循環できる交通体系の整備を目指します。そのために、行政とあいあい協議会が協働し、地域主体型交通の地域内での需要を調べるためのアンケート調査や、その下調べとして他地区での実施事例の把握など、事業の実施に向けた検討を行っています。

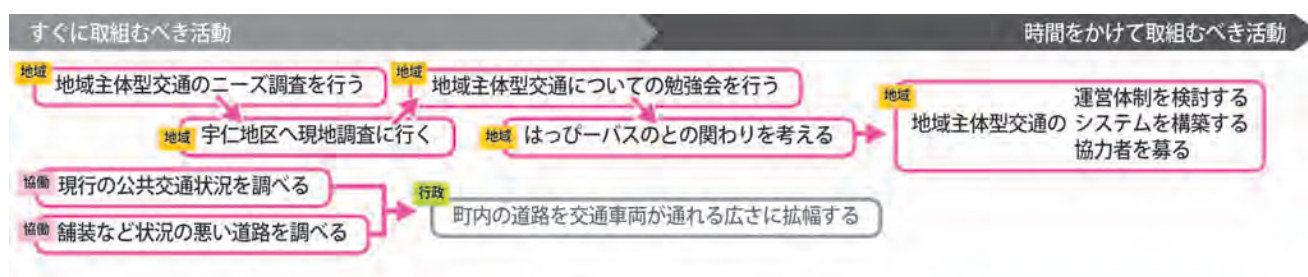
また、現行の公共交通状況を調査し、地区内で車両が通れない道路や、狭く歩道が整備されていない箇所などを確認することで、道路環境の改善に努めます。

望ましい将来像

「移動困難者が多様な交通手段で、不便なく移動ができるまち」

「広い道路や舗道を、安全安心に歩いて動けるまち」

活動のアイデア



最初のとりくみ： アンケート調査の下調べと事例の把握・検討を行う

主 体： あいあいまちづくり協議会・人口増政策課

viii. 買い物・店舗

在田に住む人たちに、必要なものが在田地区内で揃う、買い物に不自由しないまちを目指します。また、地区内外から人が集まる、魅力的な店があるまちを目指します。

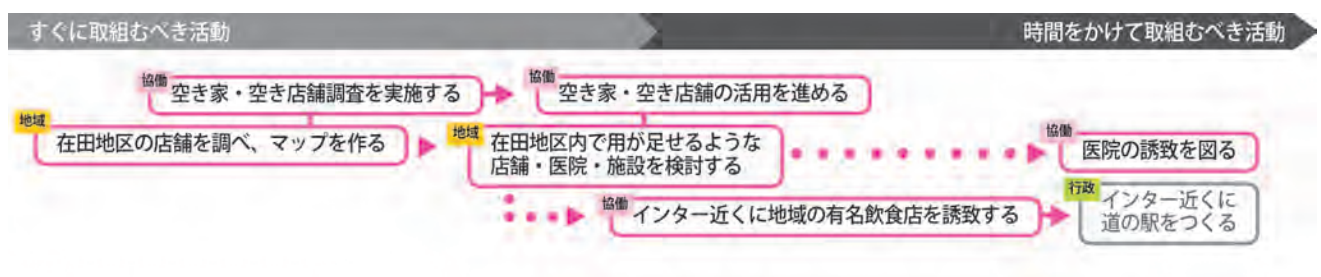
最初の取組として、あいあい協議会・行政・観光協会が協働して、インターチェンジ周辺にある店舗を調査し、それらをまとめたマップを作成します。調査を行い、現在地域に不足する店舗や施設を検討して、将来的にそれらの誘致を図ります。

また、空き家や空き店舗の実態も合わせて調査し、それらを活用した店舗や施設の誘致を検討します。

望ましい将来像

**「人や物が集まり、必要なものが地区内で揃う、買い物に不自由しないまち」
「魅力的な店があるまち」**

活動のアイデア



最初のとりくみ： **店舗のマップを作る（まずはICから）**

主 体： **あいあいまちづくり協議会・加西市役所・観光協会**

ix. 住まい・空き家

在田の空き家・空き施設が、地域の多世代を支える拠点として活用されるまちを目指します。

近年空き家・空き施設が増加しており、それらの活用をおこなうことによる問題解決を図る必要があります。最初の一歩として、在田地区内の空き家・空き施設の状況を調べることで、これからの活用に向けての検討を行います。

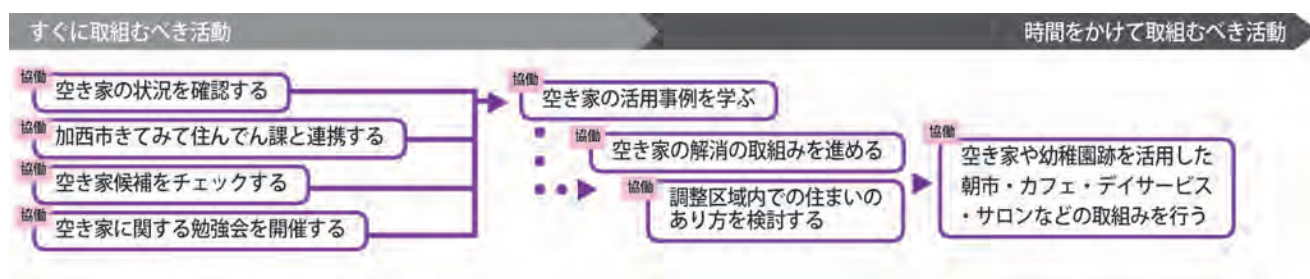
また、行政や区長会と連携し、空き家に関する勉強会や活用事例の視察、空き家問題の解消に向けて、取組を進めます。

将来的に、空き家を活用し、朝市やカフェ、デイサービス、サロンなどの多様な取組が可能となり、多世代が支え合える地域となることを目指します。

望ましい将来像

「空き家・空き施設が、地域の多世代を支える拠点として活用されるまち」

活動のアイデア



最初のとりくみ： **空き家の状況を調べる**

主 体： **あいあいまちづくり協議会・区長会・来てみて住んで課**

x. 地域のまとまり

在田に住まう多世代のみんなの意見が尊重され、地域の付き合いを気持ちのよくできるまちを目指します。

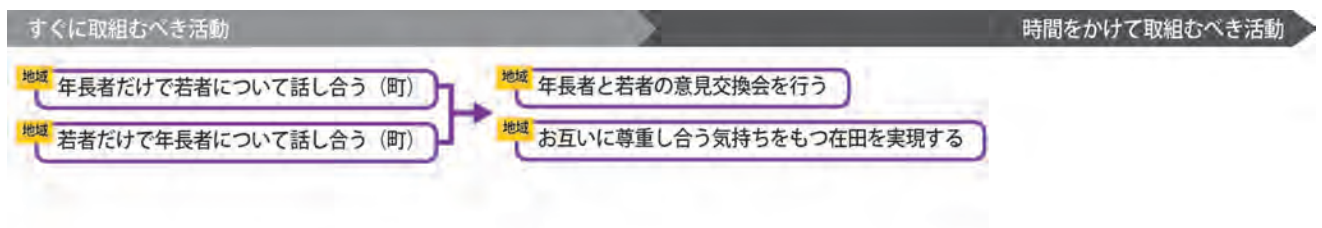
在田地区では、地域のまとまりは大切ですが、一方でそれを負担に感じて、疲れてしまう人も多く居ます。これまで行ってきた風習を見直すことで、昔の文化や風習の重要な部分は継承しながら、若い世代が積極的に参加できる、お互いの意見が尊重される地域を目指します。

そのために最初の取組みとして、あいあい協議会が主体となり、消防団などの若い世代の中での話し合いを促し、また、あいあい協議会内に居られる年配の方々の中でも、同様に話し合います。その上で、年長者と若者との意見交換の機会を設け、お互いの考えを共有し、今までの行事や風習のこれからのあり方を検討していきます。

望ましい将来像

「みんなの意見が尊重され、地域のつきあいが気持ちよくできるまち」

活動のアイデア



最初のとりくみ： 若者世代だけ・シニア世代だけで話し合う

主 体： あいあいまちづくり協議会

資料編

在田地区まちづくり計画（ダイジェスト版）

子どもたちの元気な声が聞こえ、笑顔でふれあえる、魅力的なまち 自然が豊かで活気があり、世代や人、思いや経済が巡る、暮らし続けられるまち

在田あいあいまちづくり協議会では、まちづくり計画にて、望ましいまちの将来像と、10のテーマによる活動の方針を定めました。ここに、各テーマの望ましいまちの将来像と、活動のアイデア及び最初に取り組むべき活動を示します。

凡 例（このページの見方）

活動のテーマ

「テーマについての、在田地区が目指す、望ましいまちの将来像」

活動のアイデア

すぐに取組むべき活動

時間をかけて取組むべき活動

地域：地域が主体となって取組む活動

協働：地域と行政が協働して取組む活動

行政：行政が主体となって取組む活動

最初のとりくみ： 最初に取り組むべき活動

主体： 主体となって取組む団体・人

歴史・文化財

「歴史や伝統が継承され、適度に活用されるまち」「自分たちのまちの魅力を発信できるまち」

活動のアイデア

地域 既存行事を継続し、若者の参加と理解を得る

地域 既存行事の事業内容を見直す

地域 若者と高齢者の交流の機会を充実させる

協働 小学校と行政で連携し、魅力資源を調べてマップを作る

協働 SNSによる地区内外への
観光資源・文化財のPRを皆で行う

協働 SNS・スマホ教室を開催する

協働 SNS・スマホが得意な人を探す

協働 地域で漫画が描ける人を発掘する

協働 地域の歴史文化を漫画として発信する

最初のとりくみ： 在田の歴史を見直す

主体： あいあいまちづくり協議会

自然

「水がきれいで空気がおいしい自然豊かなまち」

活動のアイデア

協働 在田の重要な自然遺産を調べる

協働 自然遺産を巡るハイキングコースを作る

協働 写真映える景色をSNSにて発信する

行政 万願寺川周辺をきれいな
場所として整備する

協働 耕作放棄地の所有者との連絡や連携を図る

協働 耕作放棄地の状況を調べる

行政 耕作放棄地で花と緑の景観づくりを行う

最初のとりくみ： 自然遺産を調べる

主体： あいあいまちづくり協議会

農業

「生涯楽しめる農業と稼げる農業がともにできるまち」

活動のアイデア

地域 地産地消できそうな
在田の農産物を調べる

地域 貸してもらえぬ畑・住宅用土地を探す

行政 移住定住者に住宅用土地・畑を貸し出す

協働 農産物の地産地消を目指す

協働 元気な農業の担い手を探す

協働 作るだけでなく、稼げる農業の
アイデアを出し合う

協働 元気な農業の担い手を
地区内外にPRする

協働 水田のオーナー
制度をつくる

協働 獣害対策を検討する

協働 農産物等の販売拠点を設ける

協働 移住候補者向けの農業体験会を実施する

最初のとりくみ： まち協に協力してくれる元気な農業の担い手を探す

主体： あいあいまちづくり協議会

産業

「地元雇用が生まれ、定住する人が増えるまち」

活動のアイデア

地域 在田の産業を調べてマップにする

協働 団地労働者向けに
在田の魅力を発信する

地域 定住者向けに地代を無償で土地を提供する

協働 産業団地の企業との
話し合いの機会を設ける

協働 団地労働者との交流の
機会を設ける

行政 山林の荒廃対策を検討する

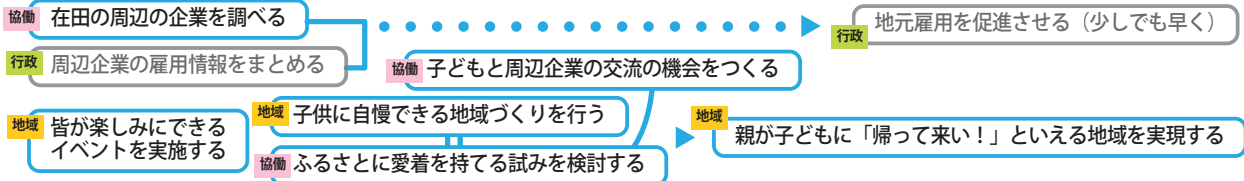
最初のとりくみ： 産業団地の企業との話し合いの機会を設ける

主体： あいあいまちづくり協議会・区長会

子ども・若者

「子ども世代が住み続け、若者が移住してくるまち」

活動のアイデア



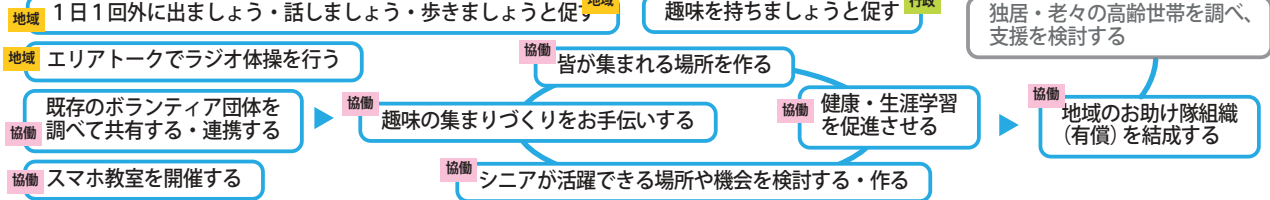
最初のとりくみ： ミニ同窓会を開催する

主体： あいあいまちづくり協議会

シニア・福祉

「健康維持に熱心で、お互いが助け合い、支え合えるまち」

活動のアイデア



最初のとりくみ： スマホ教室を開催する

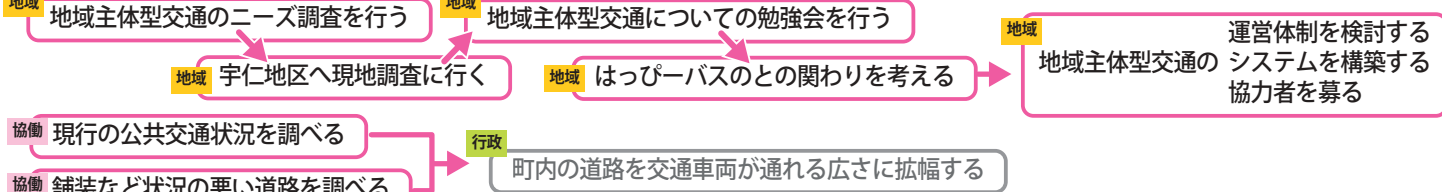
主体： あいあいまちづくり協議会

公共交通・道路

「移動困難者が多様な交通手段で不便なく移動ができるまち」

「広い道路や舗道を安全安心に歩いて動けるまち」

活動のアイデア



最初のとりくみ： アンケート調査の下調べと事例の把握・検討を行う

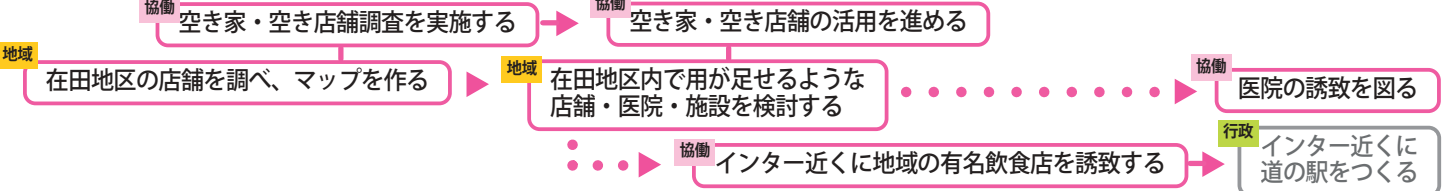
主体： あいあいまちづくり協議会・人口増政策課

買い物・店舗

「人や物が集まり、必要なものが地区内で揃う、買い物に不自由しないまち」

「魅力的な店があるまち」

活動のアイデア



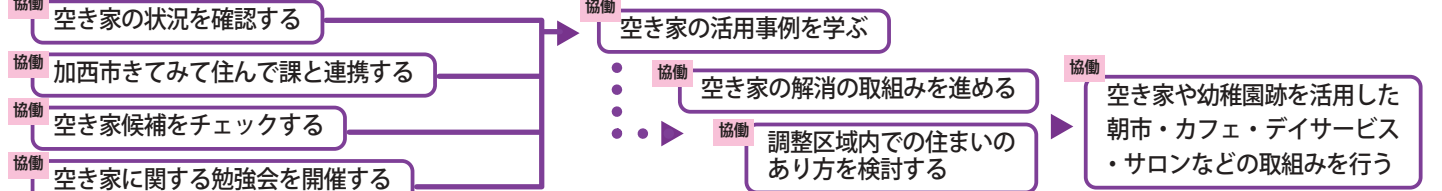
最初のとりくみ： 店舗のマップを作る(まずはIC周辺から)

主体： あいあいまちづくり協議会・加西市役所・観光協会

住まい・空き家

「空き家・空き施設が、地域の多世代を支える拠点として活用されるまち」

活動のアイデア



最初のとりくみ： 空き家の状況を確認する

主体： あいあいまちづくり協議会・区長会・きてみて住んで課

地域のまとめ

「みんなの意見が尊重され、地域のつきあいが気持ちよくできるまち」

活動のアイデア



最初のとりくみ： 若者世代だけ・シニア世代だけで話し合う

主体： あいあいまちづくり協議会

在田地区まちづくり計画

子どもたちの元気な声が聞こえ、笑顔でふれあえる、魅力的なまち
～自然が豊かで活気があり、世代や人、思いや経済が巡る、暮らし続けられるまち～

令和４年３月３１日 第１版発行

編集・発行 : 在田あいあいまちづくり協議会
協力 : 有限会社スタジオ・カタリスト

わたしたちの学び舎

泉小学校 歴代の校舎

初代

明治34年（1901年）
＼

第二代

昭和35年（1960年）
＼



第三代

平成6年（1994年）
＼

令和4年3月発行

編集・発行：在田あいあいまちづくり協議会